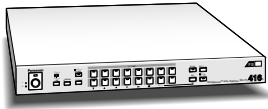


Panasonic

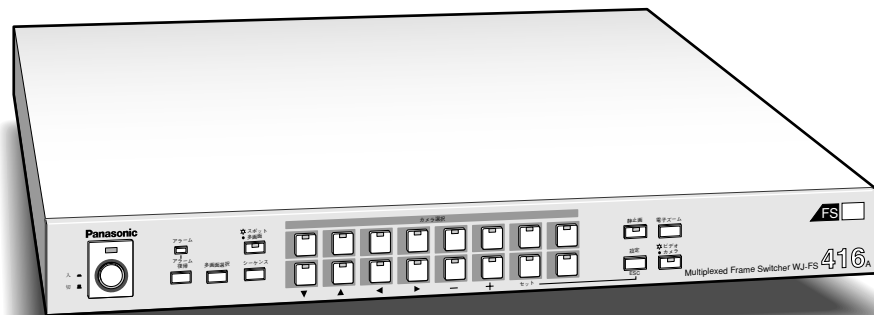
フレームスイッチャー

取扱説明書

工事説明付き



品番 **WJ-FS416A**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、フレームスイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は、映像監視システム用のフレームスイッチャーです。

カメラを最大16台まで接続でき、カメラ映像を1画面または多画面で表示します。

また、カメラ映像を切り換えて、録画機器（VTR、デジタルディスクレコーダー）に多重録画できます。

特長

2台のモニターに異なる映像を表示可能

- 1台は1画面映像専用（スポットモニター）、1台は多画面表示用（多画面モニター）にすることができます（多画面モニターには1画面映像を表示することもできます）。
2台のモニターに異なるカメラ映像を表示して、監視効率を高めることができます。
- スポットモニターに表示しているカメラ映像を、多画面モニターに表示しないよう設定できます（シークレット ビュー）。

多画面で分割表示が可能

多画面モニターに、4画面／9画面／16画面で複数のカメラの映像を同時に表示し、ものない監視ができます。

シーケンスによる映像確認

• 1画面シーケンス機能による映像確認

シーケンスとは、カメラ映像を自動的に切り換えて表示する機能です。スポットモニターの場合、あらかじめ設定された順番で、1画面映像を自動的に切り換えられます。この機能を1画面シーケンスと呼びます。切り換える時間および順番はセットアップメニューで設定できます。

• 多画面シーケンス機能による映像確認

多画面モニターの場合、多画面の映像を自動的に切り換えて表示できます。この機能を多画面シーケンスと呼びます。多画面モニターの場合、多画面シーケンス、1画面シーケンス両方の機能を使用できます。1画面シーケンスと同様にセットアップメニューで切替時間と順番が設定できます。

VTRの録画・再生

- 本機にデジタルディスクレコーダーやタイムラプスVTRなどの録画機器を接続すると、本機に接続した全カメラの映像を多重録画できます（録画時、各カメラの映像とともに、カメラIDを記録します）。なお、再生映像は多画面モニターでのみ確認できます。
- 録画した映像を再生する場合、記録されたカメラIDを元に、任意のカメラ映像だけを選択して1画面でモニターに表示したり、4画面／9画面／16画面で表示することもできます。

電子ズーム・静止画表示

多画面モニターの映像を2倍まで拡大して表示したり（1画面表示のみ）、静止画で確認することができます。

アラーム連動または外部コントロールに対応

本機のアラーム／リモート端子をアラーム入力端子として使用できます。

- アラーム信号に連動して、アラーム信号に対応した場所の映像を優先して録画するよう設定できます。
- 優先録画の設定は4種類あり、その中から1種類選択します。
- 本機のアラーム／リモート端子を外部からコントロールするための端子として使用できます。この端子を使って、カメラの選択などの機能を外部スイッチから操作できます。

PS・Dataモードに対応

本機は、PS・Data（PS・Data（Panasonic Security・Data）モードに対応しています*。PS・Dataモードに対応したシステムコントローラーで本機を操作したり、セットアップしたりすることができます。

操作のしかたは、お使いになるシステムコントローラーによって異なります。システムコントローラーからの操作方法は、お使いになるシステムコントローラーの取扱説明書をお読みください。

※PS・Dataモードに対応している機器には **PS・Data** が付いています。

付属品をご確認ください

スイッチプロテクター	1	録画モード・セットアップガイド	1
ラックマウント金具	2	取扱説明書（本書）	1
ラック取付ねじ（M5×12）	4	保証書	1
取付ねじ（M3×10）	6		

もくじ

ご使用前に

ご使用前に

商品概要	2
付属品をご確認ください	3
安全上のご注意	6
使用上のお願い	8
各部のなまえ（前面パネル）	10

スポットモニター
操作

操作

電源の入れかた・切りかた	12
スポットモニターでカメラの映像を見る	13

1画面表示で見る	13
シーケンスで見る	14

多画面モニターでカメラの映像を見る	15
-------------------	----

1画面表示で見る	15
1画面シーケンスで見る	16
拡大して見る	17
静止画で見る	18
多画面表示で見る	19
多画面シーケンスで見る	21
静止画で見る	22

カメラの映像の録画について	23
---------------	----

通常時の録画について	23
アラーム発生時の録画について	23
カメラIDの記録について	23

再生映像を表示する	24
-----------	----

再生時のお願い	24
再生画について	24
1画面で表示する	26
1画面シーケンスで表示する	27
拡大して表示する	28
静止画表示する	29
多画面で表示する	30
多画面シーケンスで表示する	31
静止画表示する	32

録画映像の自動表示について	33
---------------	----

アラーム発生時の操作	34
------------	----

アラームを解除する	34
手動で解除する	34
自動で解除する	34
外部機器からアラーム復帰信号が入力される	34

映像信号ロス時の動作	35
------------	----

多画面モニター
操作

録画機器操作

アラーム時操作

設定

工事

その他

設定

セットアップメニューについて	36
セットアップメニュー一覧	36
セットアップメニューを表示する	37
セットアップメニューでの基本操作	37
メニューを選択する	37
メニューの設定内容を選択する	37
設定を確定させ、セットアップメニューのトップ画面に戻る	38
サブメニューを表示する	38
セットアップメニューを終了する	38
アラームセットアップ	39
モニタアウトセットアップ	42
ロクガアウトセットアップ	44
シーケンスセットアップ	45
システムセットアップ	47
設定内容を工場出荷時の状態に戻す	54

工事

工事のしかた	55
設置上のお願い	55
各部のなまえ（後面パネル）	56
接続のしかた	57
接続例（基本）	57
タイムラプスVTRの接続	58
デジタルディスクレコーダーの接続	59
モニターの接続	60
PS・Dataモード対応機器の接続	60
基本接続	60
複数台接続する場合	61
アラーム／リモート端子の使いかた	62
ピン配置	62
アラームセンサーおよびリモートスイッチの条件	62
アラーム入力端子として使用する場合	63
リモート端子として使用する場合	64
ラックへの取り付けかた	65
ラックについて	65

その他

仕様	66
保証とアフターサービス	67

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使 い方や、交流100V以外での使用はしな い



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

電源コードは、必ずプラ グ本体を持って抜く



感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠ 注意

振動や強い衝撃を与えな い



火災や感電、故障の原因になります。

禁止

湿気やほこりの多い場所 に設置しない



火災や感電、故障の原因になります。

禁止

使用上のお願い

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用電源は

AC100 Vです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

電源スイッチについて

電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

電源について

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

使用温度範囲は

-10℃から+50℃です。この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となることがあります。

内蔵バックアップ電池について

- ・初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、電池を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電保証時間（常温で72時間）が短くなります。
- ・内蔵バックアップ電池には寿命があります。寿命を過ぎると電源を切った際に時刻設定の内容が保存されません。寿命は使用条件により変わりますが、約5年が交換の目安です。

内蔵EEPROMについて

メニューの設定などは、EEPROMに保存されますが、EEPROMの書き込み寿命回数は約10万回となっております。約10万回書き込みますと、画面に「ROM NG」と表示されますので、EEPROMの交換を販売店にご依頼ください。

結露に注意してください。

故障の原因となりますので結露に注意してください。

結露が発生しやすい条件は

- ・温度や湿度差の大きいところに移動したとき
- ・湿度の高いところ
- ・冷房されているところから急に、温度や湿度の高いところに移動したとき
- ・暖房した直後の部屋

アースについて

必ず、アース端子から大地にアースをとってください。アースをしないと発振したり、故障の原因となることがあります。

お手入れについて

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

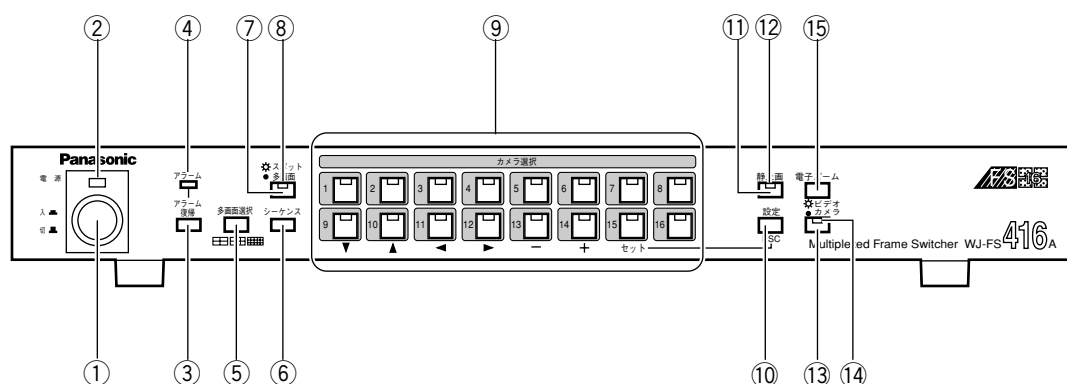
表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

長期間使用しない場合は

電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ（前面パネル）



①電源スイッチ

電源を入/切します。

②電源表示ランプ

電源スイッチが「入」のとき、点灯します。

③アラーム復帰ボタン

アラーム動作中に押すと、アラーム動作（アラーム表示ランプ点滅、アラーム信号出力、アラームブザー鳴動）を停止し、アラーム信号入力前の状態に戻ります（34ページ）。

④アラーム表示ランプ

アラームが入力されると点滅表示します。アラーム復帰ボタンを押すと消灯します。また、後面のアラーム/リモート端子に復帰信号が入力されるか、設定されたアラーム自動復帰時間が経過すると、点灯します。

⑤多画面選択ボタン

カメラ映像または再生映像を多画面（4分割、9分割、16分割）表示します。このボタンを押すたびに、4画面→9画面→16画面→4画面・・・と切り換わります。

⑥シーケンスボタン

カメラ映像または再生映像をシーケンス表示します。シーケンス動作の設定はあらかじめ、セットアップメニュー「シーケンス セットアップ」で行います（45ページ）。

⑦スポット/多画面切換ボタン

操作するモニターを選択します。

⑧スポット/多画面表示ランプ

スポットモニターが選択されているときは点灯し、多画面モニターが選択されているときは消灯します。

⑨カメラ選択ボタン

[カメラ選択1~16/カーソル移動▼、▲、◀、▶、-、+、セット]

選択したカメラの映像をモニターに表示します。カメラ選択ボタンの1~16は後面の映像入力端子1~16に対応しています。

映像を拡大表示しているときの動作については、17ページをお読みください。

また、セットアップメニューを表示しているときの動作については37ページをお読みください。

⑩設定ボタン

- 約2秒間押すと、セットアップメニューが表示されます。
- セットアップメニューを設定した後に約2秒間押すと、設定が登録され、元のカメラ映像の画面に戻ります。

⑪静止画ボタン

カメラ映像または再生映像を静止させたいときに操作します。静止画で表示されている間、画面に「STILL」とカメラタイトルが交互に表示されます。

⑫静止画表示ランプ

静止画表示されていると点灯します。

⑬ビデオ/カメラ切換ボタン

モニターにカメラ映像とビデオ再生映像のどちらの映像を表示させるか選択します。カメラの映像を表示したいときは、カメラを選択します。録画した映像を再生表示したいときはビデオを選択します。

⑭ビデオ/カメラ表示ランプ

ビデオを選択しているときは点灯します。

カメラを選択しているときは消灯します。

補足 ランプが点滅しているとき

次の状態のどちらかを示しています。任意のカメラch番号を選択して、映像を表示させることはできません。

- 録画した映像にカメラIDが記録されていない。
- 再生時にカメラIDを読み取ることができない。

⑮電子ズームボタン

カメラ映像または再生映像を拡大表示します。

電源の入れかた・切りかた

1 電源スイッチを押す。

電源が「入」になり、電源表示ランプが点灯します。



2 再度、電源スイッチを押す。

電源が「切」になり、電源表示ランプが消灯します。

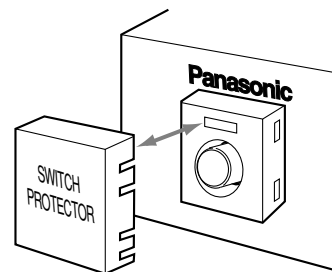


補足 スイッチプロテクターについて

付属のスイッチプロテクターを使うと、誤って本機の電源スイッチを押して「切」の状態になることを防止できます。ラックに組み込んで、電源を一括で入/切して使用する場合は、必ず本機の電源スイッチを「入」の状態※にしてからスイッチプロテクターを取り付けてください。

※ 電源スイッチが「切」の状態ですwitchプロテクターを取り付けると、電源の入/切ができなくなります。

お願い：本機の電源スイッチで他の機器の電源を連動させる場合、スイッチプロテクターは取り付けないでください。緊急対応時などに電源スイッチをすぐに操作できなくなります。



スポットモニターでカメラの映像を見る

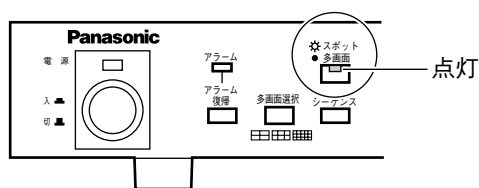
スポットモニターで確認できるカメラ映像の状態は次のとおりです。


- 1画面表示で見る
- シーケンスで見る

1 画面表示で見る

カメラの映像を選択し、画面全体に表示します。

- 1 スポット／多画面表示ランプが点灯し、スポットモニターが選択されていることを確認する。



スポット／多画面表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。

- 2 見たいカメラ番号の【カメラ選択】ボタンを押す。
押した番号のカメラ映像が表示されます。



多画面モニターでカメラの映像を見る

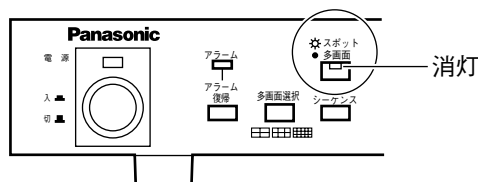
多画面モニターでは、1画面表示・多画面表示の両方でカメラの映像を確認できます。確認できるカメラ映像の状態は次のとおりです。


- 1画面表示で見る（1画面シーケンスで見る、拡大して見る、静止画で見る）
- 多画面表示で見る（多画面シーケンスで見る、静止画で見る）

1 画面表示で見る

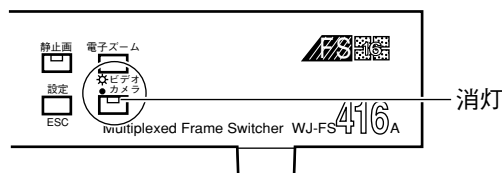
カメラの映像を選択し、画面全体に表示します。


- 1 スポット／多画面表示ランプが消灯し、多画面モニターが選択されていることを確認する。




スポット／多画面表示ランプが点灯しているときは、 を押して、ランプを消灯させます。

- 2 ビデオ／カメラ表示ランプが消灯し、カメラが選択されていることを確認する。



ビデオ／カメラ表示ランプが点灯しているときは、 を押して、ランプを消灯させます。

補足 セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「ON」に設定していると  は操作できません。ビデオ／カメラランプが点灯しているときは、録画機器を操作し、再生を停止してください。再生を停止すると、自動的に、カメラの映像に切り換わります。

- 3 見たいカメラ番号の【カメラ選択】ボタンを押す。
押した番号のカメラ映像が表示されます。



多画面モニターでカメラの映像を見る

1画面シーケンスで見る

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。

セットアップメニューで設定しているシーケンス内容によって、動作が異なります。

1 多画面モニターにカメラの映像を1画面で表示する。

操作方法の詳細は15ページをお読みください。

2 シーケンス を押す。

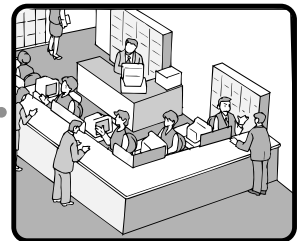
シーケンス動作が開始され、あらかじめ設定されている内容に従って、カメラ映像が順に表示されます。設定内容や設定方法については45ページをお読みください。



1chのカメラ映像



2chのカメラ映像



16chのカメラ映像



1chのカメラ映像

3 シーケンス動作を終了するときは、[カメラ選択] ボタンまたは を押す。

シーケンス表示が終了します。[カメラ選択] ボタンを押した場合は、押したカメラ番号の映像が表示されます。

拡大して見る

カメラの映像を静止画で表示します。

- 注意！
- 多画面表示では拡大表示できません。
 - 拡大表示は多画面モニターでのみ表示できます。

1 多画面モニターにカメラの映像を1画面で表示する。

操作方法の詳細は15ページをお読みください。

2 ^{電子ズーム} を押す。



映像に「+」が表示されます。



3 を押して、「+」を拡大したい位置に移動する。

「+」が移動できる位置は9か所です。



- 注意！
- 「+」は ^{電子ズーム}  を押してから、約5秒間表示されます。その間、何も操作しないと「+」は消えてしまいます。「+」を表示するときは、再度 ^{電子ズーム}  を押してください。
 - 電子ズーム中は [カメラ選択] ボタンを押して、他のカメラ映像に切り換えることはできません。

4 を押して、拡大表示する。

 を押すと映像が縮小し、 を押すと、拡大位置を移動することもできます。



- 注意！ 拡大できる大きさは元の大きさの2倍までで、元の大きさより小さく表示することはできません。

5 電子ズームを終了するときは、^{電子ズーム} または を押す。

電子ズームが終了し、元の映像の大きさに戻ります。

多画面モニターでカメラの映像を見る

静止画で見る

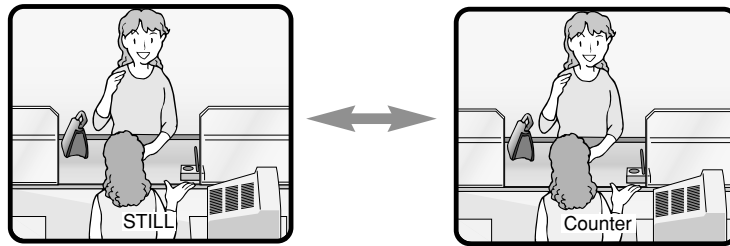
カメラの映像を静止画で表示します。

1 多画面モニターにカメラの映像を1画面で表示する。

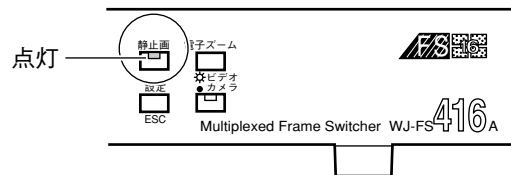
操作方法の詳細は15ページをお読みください。

2 静止画 を押す。

映像が静止画になり、画面に「STILL」とカメラタイトルが交互に表示されます。



また、静止画ランプが点灯し、カメラ選択ボタンが点滅表示します。

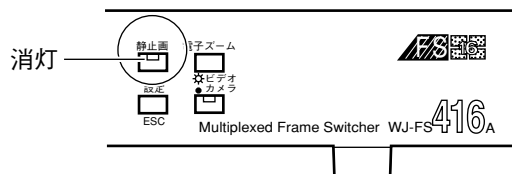


- 注意！
- セットアップメニューの「スチル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面に「STILL」は表示されません。
 - セットアップメニューの「タイトル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面にカメラタイトルは表示されません。「STILL」のみ表示されます。

3 静止画を終了するとき、再度、静止画 を押す。

静止画表示が終了し、元の状態に戻ります。また、静止画ランプが消灯します。

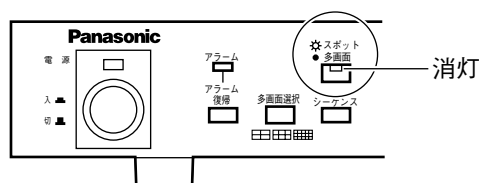
また、カメラ選択ボタンを押して、他のカメラ映像に切り換えると、自動的に静止画が終了します。




多画面表示で見る

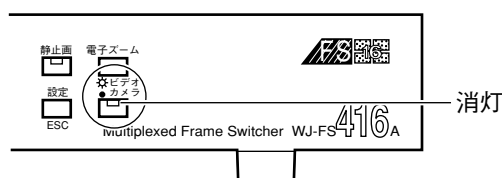
カメラの映像を多画面（4分割・9分割・16分割）表示します。


- 1 スポット／多画面表示ランプが消灯し、多画面モニターが選択されていることを確認する。




スポット／多画面表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。


- 2 ビデオ／カメラ表示ランプが消灯し、カメラが選択されていることを確認する。




ビデオ／カメラ表示ランプが点灯しているときは、 を押して、ランプを消灯させます。

補足 セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「ON」に設定していると

 は操作できません。ビデオ／カメラランプが点灯しているときは、録画機器を操作し、再生を停止してください。再生を停止すると、自動的にカメラの映像に切り換わります。

- 3  を押して、分割数を選択する。

 を押すたびに、4画面→9画面→16画面→4画面・・・と切り換わります。




補足 [カメラ選択] ボタンを押して、他のカメラ映像に切り換えると、自動的に1画面表示になります。

多画面モニターでカメラの映像を見る

補足 「モニタアウトセットアップ」で「4ガメンオクリ」を「ON」に設定していると

多画面選択

を押すたびに、画面が4A→4B→4C→4D→9画面→16画面と切り換わります。

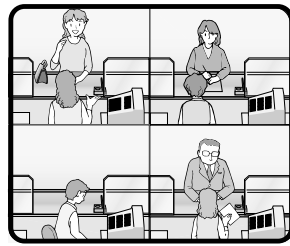
4A、4B、4C、4Dとは4台のカメラ映像を1グループとして、4グループに分けているグループそれぞれの名前です。

4A：1～4chに接続されているカメラ映像

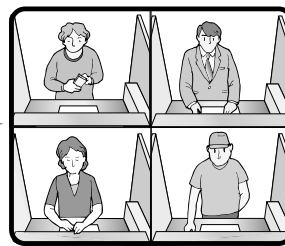
4B：5～8chに接続されているカメラ映像

4C：9～12chに接続されているカメラ映像

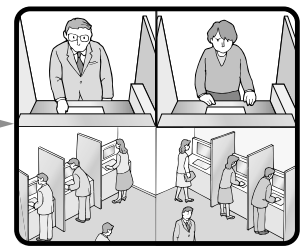
4D：13～16chに接続されているカメラ映像



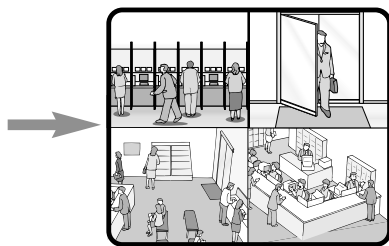
4A (1~4ch) 表示



4B (5~8ch) 表示



4C (9~12ch) 表示



4D (13~16ch) 表示



9画面表示



16画面表示

- 各分割画面は、準動画（コマ落とし）の映像になります。映像の更新間隔は、4画面表示時は、約0.3秒、9画面表示時は約0.9秒、16画面表示時は約1.5秒になります。
- 4画面、9画面表示時に画面が縦方向に若干揺れることがありますが、故障ではありません。

多画面シーケンスで見る

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。

セットアップメニューで設定しているシーケンス内容によって、動作が異なります（45ページ）。

1 多画面モニターに多画面の映像を表示する。

4画面・9画面・16画面のすべての多画面でシーケンス表示できます。

操作方法の詳細は19ページをお読みください。

2 シーケンス を押す。

シーケンス動作が開始され、あらかじめ設定されている内容に従って、カメラ映像が順に表示されます。

設定内容や設定方法については45ページをお読みください。


3 シーケンス動作を終了するときは、[カメラ選択] ボタン、または 多画面選択 を押す。

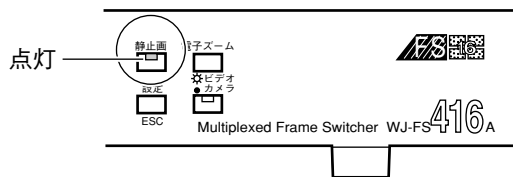
シーケンス表示が終了し、押したカメラ番号の映像が表示されます。

多画面モニターでカメラの映像を見る

静止画で見る

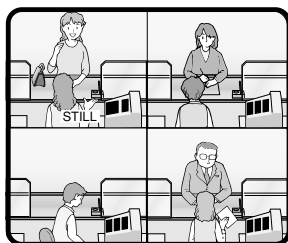
カメラの映像を静止画で表示します。

- 1 多画面モニターに多画面の映像を表示する。**
4画面・9画面・16画面のすべての多画面で静止画にできます。
操作方法の詳細は19ページをお読みください。
- 2  を押す。**
静止画ランプが点灯します。




- 3 静止画にしたい映像の【カメラ選択】ボタンを押す。**
選択したカメラの映像が静止画になり、画面に「STILL」とカメラタイトルが交互に表示されます。
カメラの映像を個別に、元の映像に戻したいときは、再度【カメラ選択】ボタンを押します。

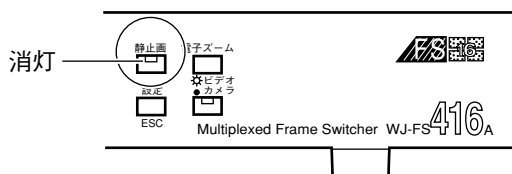
1chを静止画にした場合の表示例



また、押した【カメラ選択】ボタンが点滅表示します。

- 注意！**
- セットアップメニューの「スチル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面に「STILL」は表示されません。
 - セットアップメニューの「タイトル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面にカメラタイトルは表示されません。「STILL」のみ表示されます。

- 4 静止画を終了するときには、再度、 を押す。**
静止画表示が終了し、元の状態に戻ります。また、静止画ランプが消灯します。



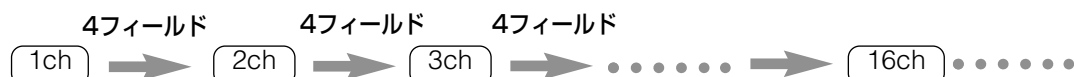
カメラの映像の録画について

カメラ本機にデジタルディスクレコーダーやタイムラプスVTRなどの録画機器を接続すると、本機に接続したすべてのカメラの映像を多重録画することができます。録画に関する操作は本機に接続されている録画機器で行います。本機では録画に関する設定を行います。録画に関する設定は44ページをお読みください。

通常時の録画について

通常時、本機はセットアップメニューの「ロクガ モード」の設定に従って、接続されているカメラの映像を切り換えて、映像信号を録画出力端子から出力しています（44ページ）。

<例：工場出荷時の設定で使用している場合>

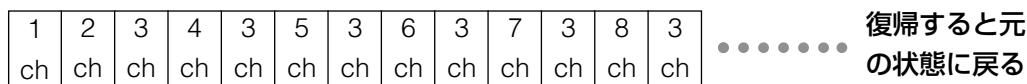


アラーム発生時の録画について

アラーム発生時、アラーム信号が入力されている間、本機はセットアップメニューの「ユウセン ロクガ」の設定に従って、アラームに連動して録画出力を切り換えることができます（39ページ）。ここでは、3chにアラーム信号が入力された場合を例に説明します。

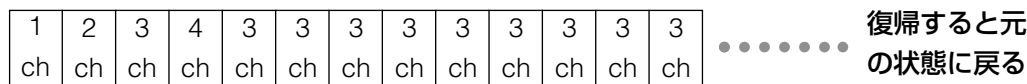
アラームを優先して録画するとき（「ALM PRI」に設定）

▼アラーム発生



アラーム発生場所のみ録画するとき（「ALM ONLY」に設定）

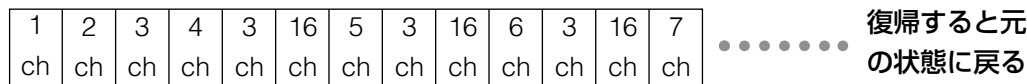
▼アラーム発生



割り当てられたカメラの映像のみ録画するとき（「GLOUP」に設定）

<例：3chのカメラと16chのカメラを割り当てている場合>

▼アラーム発生



カメラIDの記録について

本機は録画した映像を再生するときに、任意のカメラの映像のみ表示したり、多画面表示にして再生映像を表示できます（詳細は次ページをお読みください）。このような操作を行うためには、録画された映像にカメラIDが記録されている必要があります。

録画時、カメラIDを記録するためには、本機後面の録画出力端子に監視用録画機器（デジタルディスクレコーダーやタイムラプスVTRなど）を接続してください。スポット出力端子または多画面出力端子に監視用録画機器を接続して録画した場合、カメラIDは記録されません。

再生映像を表示する

デジタルディスクレコーダーやタイムラプスVTRなどの録画機器に録画された映像を表示します。録画された映像の再生は録画機器で行い、本機ではその再生映像をモニターに表示します。

再生された映像のカメラIDをもとに、任意のカメラ映像だけを選択して表示したり、複数のカメラ映像を4画面／9画面／16画面で表示して、確認することができます。

再生時に確認できる映像の状態は次のとおりです。

- 1画面で表示する
(1画面シーケンスで表示する、拡大して表示する、静止画で表示する)
- 多画面で表示する
(多画面シーケンスで表示する、静止画で表示する)

- 注意！**
- 上記の操作を行うためには、録画時にカメラIDが記録されている必要があります。
 - 再生映像は、多画面モニターでのみ表示できます。スポットモニターに表示することはできません。

再生時のお願い

- 録画機器の再生は通常モードまたはタイムラプスモードで行ってください。VTRをリニアモード（L12H、L18H、L24H）にすると、画面にノイズが入ったり、他のチャンネルの映像が入ることがあります。
- カメラタイトルなどモニターに表示される文字を確認したいときは、1画面で再生映像を表示してください。多画面で表示すると、画面を縮小しているため、文字が読みにくくなります。

再生画について

- VTRで逆再生した映像は、本機では正常に表示できません。
- VTR側の再生モードによっては、再生画面の上部が水平方向に映像が引かれる（スキュー）場合があります。
- フィールドで録画されているため、再生時に画面やタイトルが上下に揺れることがあります。
- VTRのヘッドの状態によっては別のチャンネルの映像が見えることがあります。頻繁に発生する場合は、VTRのトラッキングやスロートラッキングを調整してください。
- 録画機器で早送り再生または、巻き戻し再生をしたり、多画面表示で再生したときは、録画機器の出力映像がそのままモニターに表示されることがあります。

- 注意！ パナソニック以外のフレームスイッチャーを使用して録画したものを再生する場合
- セットアップメニューの「VTR モード」を「OTHER」に設定してください（54ページ）。
 - 録画機器の再生モードを2Hまたは6Hに設定してください。それ以外に設定すると正常に再生できません。
 - 優先録画した映像または黒画がある映像は、正常に再生できません。
 - 録画機器で一時停止した場合に、正常に再生できないときは、本機で静止の操作を行ってください。
 - 再生映像は1画面または16画面で表示できます。4画面、9画面では表示できません。再生時、最初は16画面で表示されます、また、画面構成は次のように、ランダムに表示されます。通常の再生表示のようにカメラch順に表示されません。

7	6	3	2
5	4	1	16
15	14	11	10
13	12	9	8

再生映像
(ランダムに表示される)

1	2	5	6
3	4	7	8
9	10	13	14
11	12	15	16

通常の再生表示

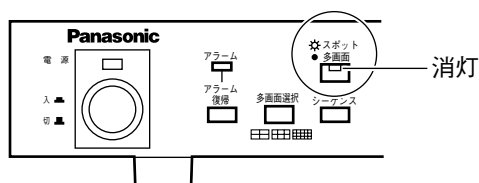
- 1画面表示に切り換えるときは、見たい再生映像の【カメラ選択】ボタンを押します。ただし、通常の再生表示の画面位置に対応したカメラch番号を押してください。例えば、7chのカメラの再生映像を見たいときは、1chの【カメラ選択】ボタンを押します。


再生映像を表示する

1画面で表示する

表示したいカメラ映像を選択して表示します。

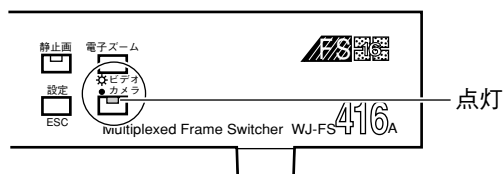
- 1 スポット／多画面表示ランプが消灯し、多画面モニターが選択されていることを確認する。




スポット／多画面表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。

- 2 本機に接続している録画機器を操作して、VTRを再生する。

- 3 ビデオ／カメラ表示ランプが点灯し、ビデオが選択されていることを確認する。



補足 セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「ON」に設定していると

- 録画機器を再生モードにすると、自動的にビデオが選択されます。
- セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「OFF」に設定した場合、ビデオ／カメラ表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。

- 4 表示したいカメラ番号の【カメラ選択】ボタンを押す。
押した番号のカメラの録画映像が表示されます。

1画面シーケンスで表示する

カメラの録画映像を自動的に切り換えて表示します（シーケンス表示）。
セットアップメニューで設定しているシーケンス内容によって、動作が異なります（45ページ）。

1 多画面モニターに再生映像を1画面で表示する。

操作方法の詳細は26ページをお読みください。

2 を押す。

シーケンス動作が開始され、あらかじめ設定されている内容に従って、カメラ映像が順に表示されます。

設定内容や設定方法については45ページをお読みください。

3 シーケンス動作を終了するときは、[カメラ選択] ボタンを押す。

シーケンス表示が終了し、押したカメラ番号の映像が表示されます。

再生映像を表示する

拡大して表示する

再生映像を1画面で拡大して表示します。

注意！ 多画面表示では拡大表示できません。

1 拡大して表示したい再生映像を1画面で表示する。

操作方法の詳細は26ページをお読みください。

2 電子ズーム を押す。

拡大した映像になり、映像に「+」が表示されます。



3 を押して、「+」を拡大したい位置に移動する。

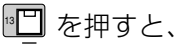
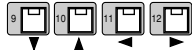
「+」が移動できる位置は9か所です。

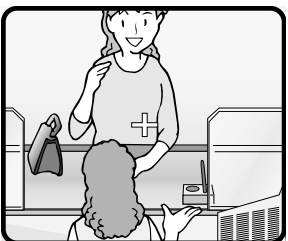


注意！

- ・「+」は 電子ズーム を押してから、約5秒間表示されます。その間、何も操作しないと「+」は消えてしまいます。「+」を表示するときは、再度 電子ズーム を押してください。
- ・電子ズーム中は【カメラ選択】ボタンを押して、他のカメラ映像に切り換えることはできません。

4 を押して、拡大表示する。

 を押すと、映像が縮小します。また、 を押して、拡大位置を移動することもできます。



注意！ 拡大できる大きさは元の大きさの2倍までで、元の大きさより小さく表示することはできません。

5 電子ズームを終了するときは、電子ズーム または を押す。

電子ズームが終了し、元の映像の大きさに戻ります。

静止画表示する

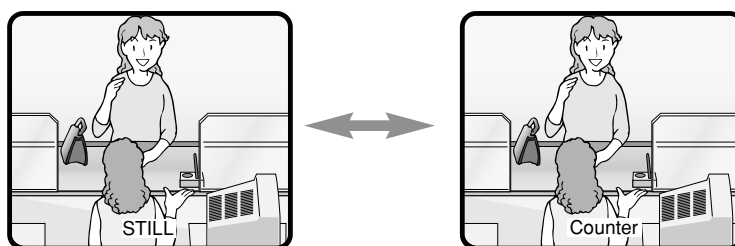
再生映像を静止画で表示します。

1 静止画表示したい再生映像を1画面で表示する。

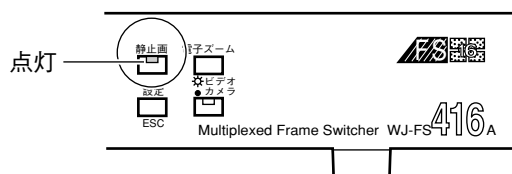
操作方法の詳細は26ページをお読みください。

2 静止画 を押す。

映像が静止画になり、画面に「STILL」とカメラタイトルが交互に表示されます。



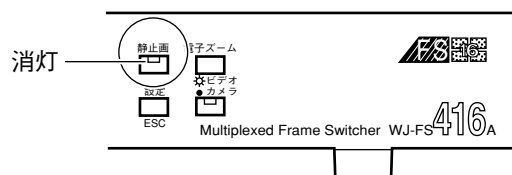
また、静止画ランプが点灯します。



- 注意！
- セットアップメニューの「スチル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面に「STILL」は表示されません。
 - セットアップメニューの「タイトル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面にカメラタイトルは表示されません。「STILL」のみ表示されます。
 - 本機で映像を静止画表示している間も、録画機器の再生は続いています。

3 静止画を終了するときには、再度、静止画 を押す。

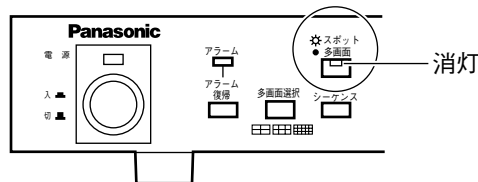
静止画表示が終了し、元の状態に戻ります。また、静止画ランプが消灯します。




多画面で表示する

再生映像を多画面（4分割・9分割・16分割）で表示します。

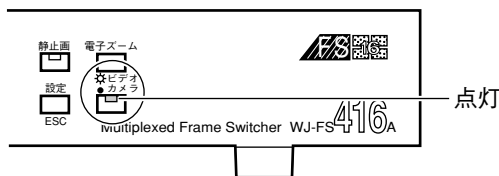
- 1 スポット／多画面表示ランプが消灯し、多画面モニターが選択されていることを確認する。




スポット／多画面表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。


- 2 本機に接続している録画機器を操作して、VTRを再生する。


- 3 ビデオ／カメラ表示ランプが点灯し、ビデオが選択されていることを確認する。



補足 セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「ON」に設定していると

- 録画機器を再生モードにすると、自動的にビデオが選択されます。
- セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「OFF」に設定した場合、ビデオ／カメラ表示ランプが消灯しているときは、 を押して、ランプを点灯させます。

- 4  を押して、分割数を選択する。

 を押すたびに、4画面→9画面→16画面→4画面・・・と切り換わります。画面遷移の詳細は、19ページをお読みください。

多画面シーケンスで表示する

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。

セットアップメニューで設定しているシーケンス内容によって、動作が異なります（45ページ）。

1 多画面モニターに再生映像を多画面で表示する。

操作方法の詳細は30ページをお読みください。

2 を押す。

シーケンス動作が開始され、あらかじめ設定されている内容に従って、カメラ映像が順に表示されます。

設定内容や設定方法については45ページをお読みください。


3 シーケンス動作を終了するときは、[カメラ選択] ボタンを押す。

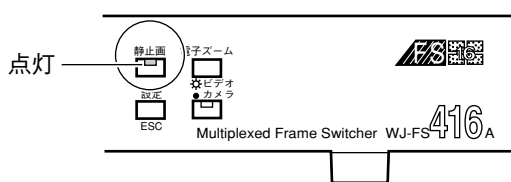
シーケンス表示が終了し、押したカメラ番号の映像が表示されます。

再生映像を表示する

静止画表示する

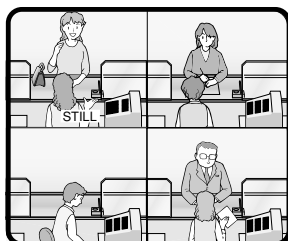
再生映像を静止画で表示します。

- 1 静止画表示したい再生映像を多画面で表示する。
多画面表示の操作方法については30ページをお読みください。
4画面・9画面・16画面のすべての多画面で静止画にできます。
- 2  を押す。
静止画ランプが点灯します。




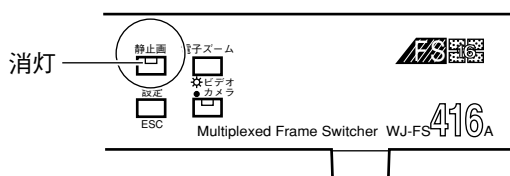
- 3 静止画にしたい映像の【カメラ選択】ボタンを押す。
選択したカメラの映像が静止画になり、画面に「STILL」とカメラタイトルが交互に表示されます。
カメラの映像を個別に元の映像に戻したいときは、再度【カメラ選択】ボタンを押します。

1chを静止画にした場合の表示例




- 注意！
- セットアップメニューの「スチル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面に「STILL」は表示されません。
 - セットアップメニューの「タイトル ヒョウジ」を「OFF」に設定している場合は、画面にカメラタイトルは表示されません。「STILL」のみ表示されます。
 - 本機で映像を静止画表示している間も、録画機器の再生は続いています。

- 4 静止画を終了するとき、再度、 を押す。
静止画表示が終了し、元の状態に戻ります。また、静止画ランプが消灯します。



録画映像の自動表示について

セットアップメニューの「ジドウ サイセイ」を「ON」に設定し、録画機器を再生モードにすれば、^{※ビデオ}  を押して、入力を切り換えなくても、本機に接続している多画面モニターに再生映像が自動表示されます。

設定方法など詳しくは、50ページをお読みください。

- 補足**
- 録画機器を再生モードにしてから、再生映像が自動表示されるまで約4秒かかります。
 - 一時的にビデオ／カメラ表示ランプが消灯し、カメラ入力に設定されることがありますが、故障ではありません。
 - 録画機器が再生モードになっていないときは、カメラの映像をそのままモニターに表示します。

- 注意！**
- 自動表示を設定しているときは、タイムラプスVTRのセットアップメニュー「REC INDICATE」の「NOT REC」を「CAMERA」に設定してください。「BLUE」に設定していると、自動表示の機能が働きません。

((DISPLAY))	
MODE	T/D
CHARACTER	WHITE
POSITION	L-UPPER
TIME SELECT	24HOURS
DATE	ON
TIME	ON
T-MODE	ON
((REC INDICATE))	
NOT REC	CAMERA

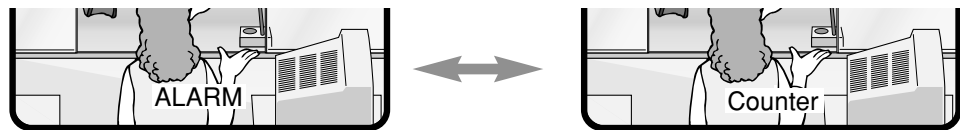
例：AG-6740

アラーム発生時の操作


本機後面のアラーム／リモート端子にアラーム信号が入力されると、本機前面のアラーム表示ランプと、アラーム信号に対応したカメラのカメラ選択ボタンのランプが点滅し、次のような動作をします。

これらを動作させるにはあらかじめ、セットアップメニュー「アラーム セットアップ」を設定する必要があります。詳細は39ページをお読みください。

- スポット専用モニター、多画面モニターにアラーム信号に対応したカメラの映像が1画面で表示されます。
- 「ALARM」とカメラタイトルが交互に点滅表示されます。



- 本機内蔵のブザーが鳴ります。
- 他の機器へアラーム信号を出力して、アラーム動作していることを知らせます。
- アラームが発生した場所の映像を優先して録画します（優先録画の設定に従って録画を開始します）。詳細は23ページをお読みください。


注意！ アラームを解除するまで、 以外のすべてのボタンは操作できません。

補足 アラームが複数の場所で連続発生した場合、最新のアラームが発生したカメラの映像が表示されます。

アラームを解除する

アラームを解除するには次の3とおりの方法があります。

手動で解除する

 を押してください。アラーム動作が解除されます。

自動で解除する

アラーム信号が入力されてから設定した時間で自動的に復帰します。セットアップメニュー「アラーム セットアップ」の「オート リセット」でアラームが解除されるまでの時間を設定してください（40ページ）。

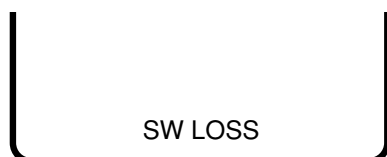
外部機器からアラーム復帰信号が入力される

アラーム／リモート端子に接続した外部機器からアラーム復帰信号が入力されると、アラーム動作を解除します。

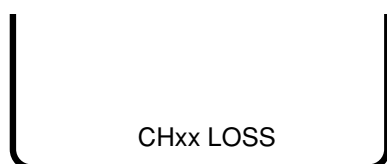
映像信号ロス時の動作

本機の電源が入っている状態で、ケーブルが抜けるなど何らかの理由でカメラや録画機器からの映像信号が途切れた場合、設定により次のような動作をします。これらを動作させるにはあらかじめ、セットアップメニューで設定する必要があります。


- 録画機器からのカメラ切換信号が途切れた場合、モニターに「SW LOSS」が表示されます（50ページ）。



- カメラからの映像信号が途切れた場合、モニターに「CHxx LOSS」（「xx」はチャンネル番号）が表示されます（41ページ）。



- 設定した時間ブザーが鳴ります（40ページ）。

映像信号の入力が回復するか、 を押し、信号ロス前の画面に戻り、ブザーが停止します。

セットアップメニューについて

本機はセットアップメニューでアラーム発生時の動作内容や、カメラ映像の録画に関する設定など、各種機能を設定します。


セットアップメニュー一覧

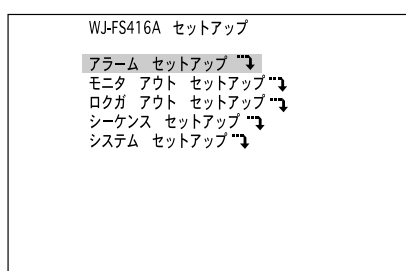
セットアップメニュー

アラーム セットアップ	<ul style="list-style-type: none"> ユウセン ログガ 39ページ アラーム ログガ モード オートリセット アラーム ヒョウジ アラーム アウト アラーム ブザー アラーム イン ビデオ ロス タガメン モニタ ドウサ スポット モニタ ドウサ
モニタ アウト セットアップ	<ul style="list-style-type: none"> タガメン モニタ 42ページ <ul style="list-style-type: none"> タイトル ヒョウジ スチル ヒョウジ ブンカツセン 4ガメンオクリ シークレット ビュー スポット モニタ <ul style="list-style-type: none"> タイトル ヒョウジ トケイ ヒョウジ
ログガ アウト セットアップ	<ul style="list-style-type: none"> タイトル ヒョウジ 44ページ ログガ モード トケイ ヒョウジ
シーケンス セットアップ	<ul style="list-style-type: none"> タガメン モニタ 45ページ <ul style="list-style-type: none"> オート スキップ シーケンス モード スポット モニタ <ul style="list-style-type: none"> オート スキップ シーケンス セットアップ
システム セットアップ	<ul style="list-style-type: none"> トケイ → 02- 1- 1 0:00 47ページ タイトル セットアップ タイトル/トケイ イチ カメラ キリカエ ロス ジドウ サイセイ パスワード スタート タガメン モニタ スタート スポット モニタ ツウシン セットアップ <ul style="list-style-type: none"> UNIT ADDRESS CAM NUMBER (Camera Number) BAUD RATE DATA BIT PARITY CHECK STOP BIT WAIT TIME ALARM DATA VTRモード <ul style="list-style-type: none"> フィールド タイミング カメラ CH

セットアップメニューを表示する

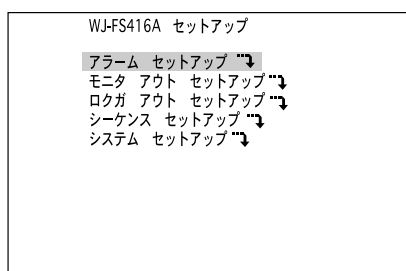
セットアップメニューを表示する前に、カメラや録画機器、モニターなど本機にきちんと接続されているか確認してください。

- 1 本機に接続されている各機器の電源を入れる。
電源の入れかたは、各機器の取扱説明書をお読みください。
- 2 本機前面の  を約2秒間押す。
セットアップメニューのトップ画面が表示されます。




セットアップメニューでの基本操作


メニュー画面上に表示される点滅表示をカーソルといいます。設定を行うときはこのカーソルを移動して行います。





メニューを選択する

 を使ってカーソルを移動させ、メニューを選択します。





 : カーソルを下に移動します。

 : カーソルを上に移動します。

 : カーソルを左に移動します。


 : カーソルを右に移動します。

メニューの設定内容を選択する



  を使って、設定内容を選択します。  を押すたびに設定内容が切り換わります。

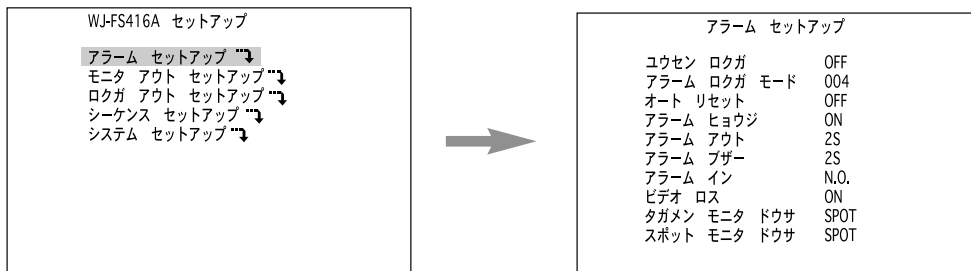
セットアップメニューについて

設定を確定させ、セットアップメニューのトップ画面に戻る


 を押すと、設定内容が確定され、セットアップメニューのトップ画面に戻ります。

サブメニューを表示する

「」が表示されているメニューにカーソルを合わせ、 を押すと、サブメニューが表示されます。



セットアップメニューを終了する

 を約2秒間押すと、セットアップメニューを終了し、通常のカメラ映像の表示に戻ります。

注意！ セットアップメニュー操作中にアラームが発生すると
セットアップメニューが終了し、通常のカメラ映像の表示に戻ります。ただし、設定内容は記憶されています。

アラームセットアップ

アラーム セットアップ		
①	ユウセン ロクガ	OFF
②	アラーム ロクガ モード	004
③	オート リセット	OFF
④	アラーム ヒョウジ	ON
⑤	アラーム アウト	2S
⑥	アラーム ブザー	2S
⑦	アラーム イン	N.O.
⑧	ビデオ ロス	ON
⑨	タグメン モニタ ドウサ	SPOT
⑩	スポット モニタ ドウサ	SPOT

①ユウセン ロクガ

アラーム発生時の録画動作を設定します。

- OFF : アラームが発生しても優先録画しません（工場出荷時）。
- ALM-PRI : アラームが発生したチャンネルの映像を優先して録画します。通常の録画よりも多いフィールド数で録画します。
- ALM-ONLY : アラームが発生したチャンネルの映像だけを録画します。他のチャンネルの映像は録画されません。
- GROUP : 1つのアラーム信号に、最大4台までのカメラを割り当てて、映像を優先して録画します。アラームが発生すると、割り当てられたカメラの映像を優先録画します。

「GROUP」を選択すると、次の画面が表示されます。1つのアラームに最大4台までのカメラを割り当てることができます。

GROUP (グループ セットアップ)				
	CH	CH	CH	CH
ALM 1 →	1	--	--	--
ALM 2 →	2	--	--	--
ALM 3 →	3	--	--	--
ALM 4 →	4	--	--	--
ALM 5 →	5	--	--	--
ALM 6 →	6	--	--	--
ALM 7 →	7	--	--	--
ALM 8 →	8	--	--	--

- 補足**
- 複数のアラームに同じカメラチャンネルを割り当てることもできます。
 - WJ-DR200を接続する場合、「ALM-ONLY」は使用できません。

②アラーム ロクガ モード

アラーム発生時の録画モードを設定します。接続する録画機器によって、設定内容が異なります。詳しくは、別紙「録画モード・セットアップガイド」をお読みください。

- 004~128 : 選択したフィールド（4~128）ごとにカメラを切り換えて録画します。工場出荷時は4フィールドに設定されています。
- EXT : カメラを切り換える制御を外部機器で行います。本機に接続している録画機器から入力されるカメラ切換信号に従って、カメラ映像を切り換えて録画します。「EXT」に設定するときは、録画機器のカメラ切換出力端子（CAMERA SW OUT）と本機のカメラ切換入力端子を接続し、カメラ切換信号を入力してください。

注意！ アラーム録画中に、別のアラームが発生した場合、最初の映像が録画されないことがあります。

セットアップメニューについて

③オート リセット

アラーム動作から自動復帰するまでの時間を設定します。

OFF : 自動復帰しません (工場出荷時)。

1-30S,40S,50S,1-5M

: 1~30秒の間、40秒、50秒、1分~5分の間で自動復帰する時間を設定します。

④アラーム ヒョウジ

アラーム発生時にモニターに「ALARM」を表示するかどうかを設定します。

ON : 表示します (工場出荷時)。

OFF : 表示しません。

⑤アラーム アウト


アラームが発生したときに、本機後面のアラーム/リモート端子からアラーム信号を出力される時間を設定します。

OFF : アラームが発生しても、アラーム信号を出力しません。

1-30S,40S,50S,1-5M

: 1~30秒の間、40秒、50秒、1分~5分の間でアラーム信号を出力する時間を設定します。工場出荷時は2Sに設定されています。

EXT : 以下の動作が行われるまで、アラーム信号を出力します。

-  を押す。
- 本機後面のアラーム/リモート端子にアラーム復帰信号が入力される。

⑥アラーム ブザー


アラーム信号入力時と映像信号ロスが検出されたときに、ブザーを鳴らす時間を設定します。

OFF : アラームが発生しても、ブザーを鳴らしません。

1-30S,40S,50S,1-5M

: 1~30秒の間、40秒、50秒、1分~5分の間でブザーを鳴らす時間を設定します。工場出荷時は2Sに設定されています。

EXT : 以下の動作が行われるまで、ブザーを鳴らします。

-  を押す。
- 本機後面のアラーム/リモート端子にアラーム復帰信号が入力される。

⑦アラーム イン

アラーム信号のシグナルタイプを設定します。本機に接続しているセンサーのシグナルタイプを設定してください。

- N.O. : ノーマリーオープン（通常開放）に設定します（工場出荷時）。
N.C. : ノーマリークローズ（通常短絡）に設定します。

⑧ビデオ ロス

録画機器からの映像信号を検出する機能を設定します。ケーブルが抜けるなど、何らかの理由で、録画機器から映像信号が途切れた場合の動作について設定します。

- ON : モニターに「CHXX LOSS」を表示します（工場出荷時）。
「XX」はチャンネル番号です。
OFF : 表示しません。

⑨タガメン モニタ ドウサ

多画面表示の状態アラーム信号が入力されたときに、アラームが発生したチャンネルのカメラ映像（1画面表示）に切り換えるかどうかを設定します。

- OFF : 切り換えません。
SPOT : アラームが解除されるまで、アラームが発生したカメラの映像を表示します（工場出荷時）。

⑩スポット モニタ ドウサ

1画面表示の状態アラーム信号が入力されたときに、アラームが発生したチャンネルのカメラ映像に切り換えるかどうかを設定します。

- OFF : 切り換えません。
SPOT : アラームが解除されるまで、アラームが発生したカメラの映像を表示します（工場出荷時）。

モニタ アウト セットアップ

モニタ アウト セットアップ		
①	タガメン モニタ タイトル ヒョウジ	ON
②	スチル ヒョウジ	ON
③	ブンカツセン	WHITE
④	4ガメン オクリ	OFF
⑤	シークレット ビュー スポット モニタ	OFF
⑥	タイトル ヒョウジ	ON
⑦	トケイ ヒョウジ	ON

①タガメン モニタ-タイトル ヒョウジ

画面モニターに、カメラタイトルを表示するかどうかを設定します。タイトルの設定は「システム セットアップ」の「タイトル セットアップ」で行います。

ON : 表示します (工場出荷時)。
OFF : 表示しません。

②タガメン モニタ-スチル ヒョウジ

静止画のときに画面に「STILL」を表示するかどうかを設定します。


ON : 表示します (工場出荷時)。
OFF : 表示しません。

③タガメン モニタ-ブンカツセン

多画面表示の画面分割線を表示するかどうかを設定します。

WHITE : 分割線を白色で表示します (工場出荷時)。
GRAY : 分割線を灰色で表示します。
BLACK : 分割線を黒色で表示します。
OFF : 分割線を表示しません。

④タガメン モニタ-4ガメン オクリ

 を押すたびに、4画面の表示が4A→4B→4C→4Dの順に切り換わるようにするかどうかを設定します。

ON : 4A→4B→4C→4D→9画面→16画面→4A・・・に切り換わります。
OFF : 4画面→9画面→16画面→4画面・・・に切り換わります (工場出荷時)。

4A (1~4chに接続されているカメラ映像)
4B (5~8chに接続されているカメラ映像)
4C (9~12chに接続されているカメラ映像)
4D (13~16chに接続されているカメラ映像)

⑤タガメン モニタ-シークレット ビュー

スポットモニターで監視している映像を、多画面モニターに表示するか、しないかを設定します。

スポットモニターと多画面表示用のモニターを以下のように使い分けている場合に、この機能を設定すると便利です。

- 多画面モニターをお客様への店内状況確認用（空席の確認など）として使用。
- スポットモニターを監視用として使用。

OFF : スポットモニターと同じ映像を表示します（工場出荷時）。

ON : 黒画面を表示します。

⑥スポット モニタ-タイトル ヒョウジ

スポット用のモニターに、カメラタイトルを表示するかどうかを設定します。タイトルの設定は「システム セットアップ」の「タイトル セットアップ」で行います。

ON : 表示します（工場出荷時）。

OFF : 表示しません。

⑦トケイ ヒョウジ

スポットモニター・多画面モニターに内部時計の日付・時刻を表示するか、しないかを設定します。

日付・時刻の表示位置は、「システム セットアップ」の「タイトル/トケイ イチ」で選択した位置に表示されます。

ON : 表示します（工場出荷時）。

OFF : 表示しません。

ロクガ アウト セットアップ

ロクガ アウト セットアップ			
①	タイトル	ヒョウジ	ON
②	ロクガ	モード	004
③	トケイ	ヒョウジ	ON

①タイトル ヒョウジ

録画の際にカメラタイトルも合わせて録画するかどうかを設定します。

ON : カメラタイトルも録画する (工場出荷時)。

OFF : カメラタイトルは録画しない。

②ロクガ モード

録画するカメラ映像を切り換えるタイミングを設定します。接続する録画機器によって、設定内容が異なります。

詳しくは、別紙「録画モード・セットアップガイド」をお読みください。

004~255 : 選択したフィールド (4~255) ごとにカメラを切り換えて録画します。工場出荷時は4フィールドに設定されています。

EXT : カメラを切り換える制御を外部機器で行います。本機に接続している録画機器から入力されるカメラ切換信号に従って、カメラ映像を切り換えて録画します。「EXT」に設定するときは、録画機器のカメラ切換出力端子 (CAMERA SW OUT) と本機のカメラ切換入力端子を接続し、カメラ切換信号を入力してください。

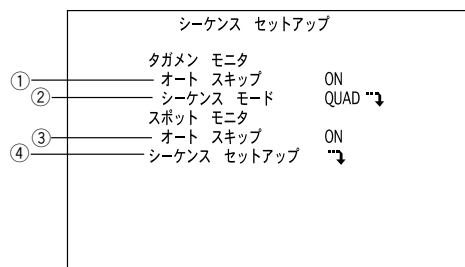
③トケイ ヒョウジ

録画の際に内部時計の日付・時刻も合わせて録画するかどうかを設定します。

ON : 日付・時刻も録画する (工場出荷時)。

OFF : 日付・時刻は録画しない。

シーケンス セットアップ



① タガメン モニタ-オート スキップ

多画面モニターでシーケンス動作しているときに、映像信号入力のないチャンネルを飛ばして表示するかどうかを設定します。

- ON : 映像入力信号のないチャンネルを飛ばして表示します (工場出荷時)。
 OFF : 映像入力信号の有無に関わらず、設定どおりにシーケンス表示します。
 映像信号のないチャンネルは黒画面で表示されます。

注意! 録画映像を再生するとき、オートスキップの機能は働きません。

② タガメン モニタ-シーケンス モード

多画面表示で行うシーケンスの動作内容を設定します。

- QUAD : 4画面表示で4A→4B→4C→4D→4A・・・の順に映像が切り換わります (4画面シーケンス)。工場出荷時は「QUAD」に設定されています。
 「QUAD」を設定した場合には次の画面が表示されます。

STEP	CH	SEC	STEP	CH	SEC
1	4A	2S	9	--	0S
2	4B	2S	10	--	0S
3	4C	2S	11	--	0S
4	4D	2S	12	--	0S
5	--	0S	13	--	0S
6	--	0S	14	--	0S
7	--	0S	15	--	0S
8	--	0S	16	--	0S

シーケンス動作の各ステップとして、「STEP」ごとに、チャンネル番号 (CH) と表示時間 (SEC) を設定します。

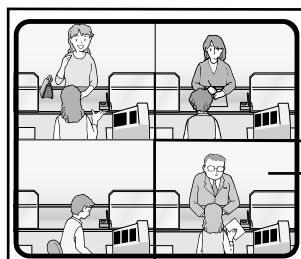
②-1: 「CH」には次の内容が設定できます。

- 1~16 : 入力したチャンネル番号のカメラ映像を表示します。
 4A : 1~4chに接続されているカメラ映像を表示します。
 4B : 5~8chに接続されているカメラ映像を表示します。
 4C : 9~12chに接続されているカメラ映像を表示します。
 4D : 13~16chに接続されているカメラ映像を表示します。

②-2: 映像を切り換える時間を0S、0S~30Sの間で1秒単位で設定します。工場出荷時は「2S」に設定されています。
 「0S」に設定すると、そのステップはスキップされ、次のステップの映像が表示されます。

セットアップメニューについて

3+1→2S : 4画面で表示され、次のように映像が切り換わります。

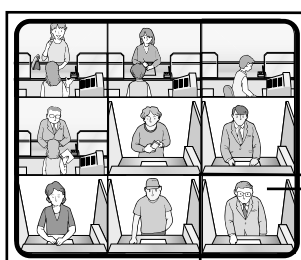


CH1～CH3のカメラ
映像は固定表示。

CH4～16のカメラ映像
がシーケンス表示

秒数は2S～30Sの間で1秒単位で設定できます。工場出荷時は「2S」に設定されています。

8+1→2S : 9画面で表示され、次のように映像が切り換わります。



CH1～CH8のカメラ
映像は固定表示。

CH9～16のカメラ映像
がシーケンス表示。

秒数は2S～30Sの間で1秒単位で設定できます。工場出荷時は「2S」に設定されています。

③ スポットモニター-オート スキップ

スポットモニターでシーケンス動作しているときに、映像信号入力のないチャンネルを飛ばして表示するかどうかを設定します。

ON : 映像入力信号のないチャンネルを飛ばして表示します (工場出荷時)。

OFF : 映像入力信号の有無に関わらず、設定どおりにシーケンス表示します。

④ シーケンス セットアップ

1画面表示で行うシーケンスの動作内容を設定します。

スポット シーケンス セットアップ					
STEP	CH	SEC	STEP	CH	SEC
1	1	2S	9	9	2S
2	2	2S	10	10	2S
3	3	2S	11	11	2S
4	4	2S	12	12	2S
5	5	2S	13	13	2S
6	6	2S	14	14	2S
7	7	2S	15	15	2S
8	8	2S	16	16	2S

シーケンス動作の各ステップとして、「STEP」ごとに、カメラのチャンネル番号 (CH) と表示時間 (SEC) を設定します。表示時間は、0 S～30 Sの間で設定できます。工場出荷時は、STEP1～16それぞれにチャンネル番号1～16が設定されています。

注意! スポットモニター、多画面モニターとも1画面シーケンスの設定は上記の画面で行います。

システム セットアップ






システム セットアップ		1/2
①	トケイ → 02 - 1 - 1 0 : 00	
②	タイトル セットアップ	
③	タイトル/トケイ イチ	
④	カメラ キリカエ ロス	ON
⑤	ジドウ サイセイ	ON
⑥	パスワード	OFF
⑦	スタート タガメン モニタ	QUAD-4A
⑧	スタート スポット モニタ	i
⑨	ツウシン セットアップ	

システム セットアップ		2/2
VTRモード		PANA
システム セットアップ 2/2		
⑩	VTRモード	OTHERS
⑩-1	フィールド タイミング	1
⑩-2	カメラ CH	16

① トケイ → 02 - 1 - 1 0 : 00

スポットモニター、多画面モニター、録画面面に表示する内部時計の日付・時刻を合わせます。日付の年数は、西暦の下2桁で表示されます。

日付・時刻を合わせる手順は次のとおりです。

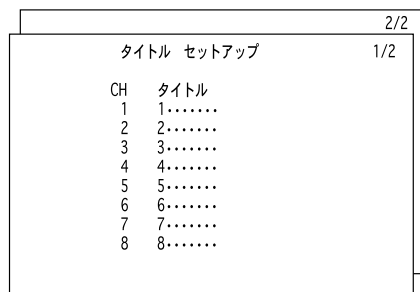
- 1 「トケイ」の位置にカーソル（点滅）を合わせる。
- 2  または  を押して、設定または変更したい日付・時刻の位置にカーソルを合わせる。
- 3  または  を押して、日付・時刻の数値を設定する。
- 4 入力が終わったら、他の項目へカーソルを移動するか、 を2秒以上押す。
日付・時刻が設定されます。

- 注意！**
- ・秒の表示は、時刻を変更してトケイ設定を終了したとき、00から動きを始めます。
 - ・本機はタイムジェネレーター（内蔵）により、日付・時刻の表示ができますが、使用する環境によって、時刻の誤差を生じることがあります。ご使用前には必ず時刻を合わせてください。
 - ・停電後の復帰時間が常温で72時間以内であれば、日付・時刻のデータは保存されます（ただし、内蔵電池が十分に充電されている場合に限りです）。
 - ・停電時は、内蔵電池で駆動しているため、時計精度が多少悪くなる場合があります。



セットアップメニューについて


②タイトル セットアップ

カメラタイトルを編集します。「タイトル セットアップ」を選択すると、次の画面が表示されます。




各チャンネル番号 (CH) に表示したいタイトルを入力します。入力する手順は次のとおりです。

- 1 入力したいチャンネル番号の「タイトル」にカーソルを合わせる。
- 2  または  を押して、文字を入力する。

入力できる文字は以下のとおりです。またカーソルを右に移動するときは  を押しません。



ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789アイウエオカキクケコ
サシスセソタチツテトナニヌネノハ
ヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロ
ワヲンアイウエオツヤユヨ
° ` ←→=? ' " # & () * + ,
- . / : ; · (space mark)

- 3 入力が終わったら、 を押す。

補足 文字を消去したいときは

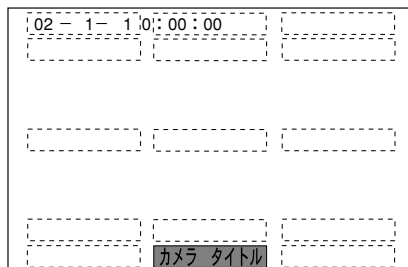
消去したい文字にカーソルを合わせて、「· (Space Mark)」を入力してください。

1つのチャンネルのタイトルを消去したいときは

消去したいタイトルにカーソルを合わせ、 と  を同時に約2秒間押し続けてください。選択したチャンネルのタイトルが消去され、工場出荷時の設定に戻ります。


③タイトル／トケイ イチ

カメラタイトルと、日付・時刻の表示位置を設定します。「タイトル／トケイ イチ」を選択すると次の画面が表示され、カーソルが「カメラタイトル」の位置になります。

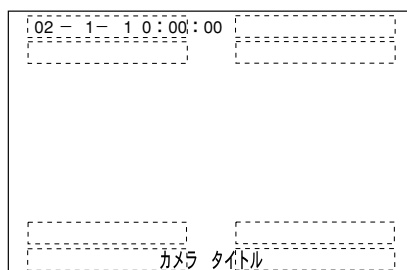



- 1 カメラタイトルを表示したい場所にカーソルを合わせる。
表示位置を15か所の中から選択します。


注意！ 日付・時刻位置と同じ位置にタイトルを表示することはできません。

- 2 日付・時刻表示位置を変更する場合、 を押す。
カーソルが「02-1-1 0:00:00」へ移ります。

- 3 日付・時刻を表示したい場所にカーソルを合わせる。
表示位置を8か所の中から選択します。



- 4 再度、 を押す。
カーソルが「カメラタイトル」へ移ります。

- 5 表示位置が決まったら、 を押す。

セットアップメニューについて


④カメラ キリカエ ロス


録画機器からのカメラ切換信号を検出する機能を設定します。ケーブルが抜けるなど、何らかの理由で、カメラ切換信号が途切れた場合の動作について設定します。

ON : モニターに「SW LOSS」を表示します（工場出荷時）。
OFF : 表示しません。

注意！ この設定は「ロクガアウトセットアップ」の「ロクガモード」に「EXT」を設定しているときだけ有効です。

⑤ジドウサイセイ

セットアップメニューの「ジドウサイセイ」を「ON」に設定し、録画機器を再生モードにすれば、^{☆ビデオ}  ^{☆カメラ} を押して、入力を切り換えなくても、本機に接続している多画面モニターに再生映像が自動表示されます。

ON : 自動再生します（工場出荷時）。
OFF : 自動再生しません。^{☆ビデオ}  ^{☆カメラ} を押して入力を切り換えます。

注意！

- 映像信号の種類によって、まれに正しく自動再生しない場合があります。その場合は、「OFF」にしてご使用ください。
- 自動表示を設定しているときは、タイムラプスVTRのセットアップメニュー「REC INDICATE」の「NOT REC」を「CAMERA」に設定してください。「BLUE」に設定していると、自動表示の機能が働きません。

```
((DISPLAY))
MODE                T/D
CHARACTER           WHITE
POSITION            L-UPPER
TIME SELECT         24HOURS
DATE                ON
TIME                ON
T-MODE              ON
((REC INDICATE))
NOT REC             CAMERA
```

例：AG-6740

⑥パスワード

パスワードを設定して、セットアップメニューを操作できる人を制限します。


ON→xxxx : パスワードを設定します。
OFF : パスワードを設定しません。

「ON」に設定した場合は、次の手順に従ってパスワードを入力します。

1 「ON」に設定した後、を押す。

カーソルが右に移動します。



2 または を押して、数字を入力する。

カーソルを右に移動するときは  を押します。「1111」～「9999」までの数字4桁で入力してください。

注意！ 「パスワード」を「ON」に設定したときは、必ずパスワードを入力してください。入力しないと、「パスワード」が機能しません。

補足 パスワードを設定すると

セットアップメニューを表示するとき、パスワードの入力が必要になります。

 ~  を使って、パスワードを入力してください。

パスワードが間違っていると、画面に「NG」が表示され、セットアップメニューを呼び出すことはできません。

補足 パスワードを変更したいときは

再度、セットアップメニューの「パスワード」を選択して、パスワードを登録し直してください。

⑦スタート タガメン モニタ

本機の電源を入れたときに、多画面モニターに表示する画面の種類を設定します。

1~16 : 入力したチャンネル番号のカメラ映像を表示します。
SPOT SEQ : 1画面表示のシーケンス映像を表示します。
QUAD-4A ~4D : 4画面表示のシーケンス映像（4A~4D）を表示します（工場出荷時）。
9screen : 9画面で表示します。
16screen : 16画面で表示します。
MLT-SEQ : 多画面シーケンスの映像を表示します。

⑧スタート スポット モニタ

本機の電源を入れたときに、スポットモニターに表示する画面の種類を設定します。

1~16 : 入力したチャンネル番号のカメラ映像を表示します。
SPOT SEQ : 1画面表示のシーケンス映像を表示します。

セットアップメニューについて

⑨ ツウシン セットアップ

PS・DataモードやRS-485に対応している機器とデータをやりとりするための通信ルールを設定します。

「ツウシン セットアップ」を選択すると、次の画面が表示されます。

ツウシン セットアップ	
⑨-1	UNIT ADDRESS 1
⑨-2	CAM NUMBER 1
⑨-3	BAUD RATE 9600
⑨-4	DATA BIT 8
⑨-5	PARITY CHECK NONE
⑨-6	STOP BIT 1
⑨-7	WAIT TIME OFF
⑨-8	ALARM DATA OFF

注意！ データ通信を行うには、以下の設定を通信する機器の間で一致させてください。

- BAUD RATE (通信速度)
- DATA BIT (データ長)
- PARITY CHECK (パリティチェック)
- STOP BIT (ストップビット)

⑨-1 UNIT ADDRESS

本機のアドレスを設定します。アドレスは1～99のいずれかを設定できます。

注意！ PS・DATAモード対応機器間で、異なる値を設定してください。

⑨-2 CAM NUMBER

カメラ番号を設定します。「CAM NUMBER」を選択すると、次の画面が表示されます。

カメラ バンゴウ セットアップ	
CAM 1 -> 001	CAM 9 -> 009
CAM 2 -> 002	CAM 10 -> 010
CAM 3 -> 003	CAM 11 -> 011
CAM 4 -> 004	CAM 12 -> 012
CAM 5 -> 005	CAM 13 -> 013
CAM 6 -> 006	CAM 14 -> 014
CAM 7 -> 007	CAM 15 -> 015
CAM 8 -> 008	CAM 16 -> 016

カメラ番号は1～128のいずれかを数字3桁で入力します。

⑨-3 BAUD RATE

接続している機器とデータのやりとりをする際の通信速度を設定します。

- 9600 : 通信速度を9600bpsにします (工場出荷時)。
- 4800 : 通信速度を4800bpsにします。
- 2400 : 通信速度を2400bpsにします。

⑨-4 DATA BIT

データの長さを示しています。設定は8 bitになっています。

この機能は設定を変更することはできません。

⑨-5 PARITY CHECK

パリティチェックのチェック方法を設定します。

NONE : パリティチェックしません (工場出荷時)。

EVEN : 偶数パリティにします。

ODD : 奇数パリティにします。

⑨-6 STOP BIT

ストップビットを設定します。

1 : 1 bitに設定します (工場出荷時)。

2 : 2 bitに設定します。

⑨-7 WAIT TIME

データの待ち時間を設定します。待ち時間以内にデータが送られてこないと、再送処理を行います。

OFF : 待ち時間を設定しません (工場出荷時)。

100 : 100 msecに設定します。

200 : 200 msecに設定します。

400 : 400 msecに設定します。

1000 : 1000 msecに設定します。

⑨-8 ALARM DATA

アラームが発生したときの外部機器 (コントローラーなど) への通知方法を設定します。

OFF : アラーム情報を外部機器に通知しません。録画機器のDATA端子に外部機器が接続されていない場合に設定します (工場出荷時)。

0S : アラームを検出するたびに、アラームが発生したことを外部機器へ通知します。

1S : アラームを検出すると、外部機器にアラームが発生したことを通知します (アラームが発生したチャンネルごとに、アラーム情報を1秒間蓄えた後、まとめて通知します)。

5S : アラームを検出すると、外部機器にアラームが発生したことを通知します (アラームが発生したチャンネルごとに、アラーム情報を5秒間蓄えた後、まとめて通知します)。

注意! 本機後面のDATA端子に外部機器が接続されていないときは、必ず「OFF」に設定してください。

セットアップメニューについて

⑩ VTRモード

パナソニックのフレームスイッチャーを使用して録画したものを再生するか、パナソニック以外のフレームスイッチャーを使用して録画したものを再生するかを選択します。

PANA : パナソニックのフレームスイッチャーを使用して録画したものを再生します。

OTHER : パナソニック以外のフレームスイッチャーを使用して録画したものを再生します。

「OTHER」に設定した場合、次の「フィールドタイミング」と「カメラCH」設定が必要になります。

⑩-1 フィールド タイミング

録画機器の録画モードに本機の設定を合わせます。

- 1 : 1フィールドに設定します。録画機器のモードが2Hまたは6H以外に設定されている場合に設定します（工場出荷時）。
- 2 : 2フィールドに設定します。録画機器のモードが2Hまたは6Hに設定されており、カメラ切換間隔が2フィールドの場合に設定します。
- 4 : 4フィールドに設定します。録画機器のモードが2Hまたは6Hに設定されており、カメラ切換間隔が4フィールドの場合に設定します。

⑩-2 カメラ CH




パナソニック以外のフレームスイッチャーを使用して、何台のカメラ映像を録画したのか、設定します。

2～16のいずれかを設定します。工場出荷時は「16」が設定されています。

設定内容を工場出荷時の状態に戻す

セットアップメニューの設定内容を一度の操作で工場出荷時の状態に戻すことができます。次の操作を行ってください。

1 本機の電源を切る。

2    を押しながら、電源スイッチを入れる。

本機前面にあるすべての表示ランプが点灯し、ブザー音が鳴ります。1秒以上押し続けてから手を離すと、ブザー音が鳴りやみます。

工事のしかた



警告

工事は販売店にご依頼ください。工事を行う前に電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

設置上のお願い

5 cm以上間隔をあけてください。

機器の側面、後面および上面は壁面から5 cm以上あけてください。

雑音源を避けてください。

電灯線などに近づけてケーブルを引き回したりすると映像が乱れる場合があります。そのときは配線や位置を変えてください。

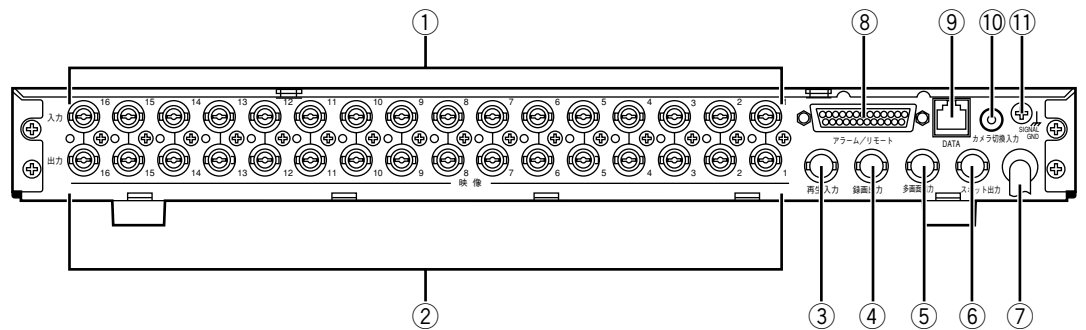
故障の原因となりますので、以下に示す場所には設置しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- 厨房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所

ラックにマウントするときは

- 本機をラックマウントする場合は、必ずEIA規格相当のラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。
- ラック内の温度が45 °C以上にならないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- 本機は、できるだけラック下側にマウントしてください。詳しくは、「ラックマウントのしかた」をお読みください。

各部のなまえ（後面パネル）



①映像入力端子

カメラからの映像信号を入力する端子です。

②映像出力端子（75 Ω自動終端付き）

映像入力端子に入力された映像がループスルー出力されます。

③再生入力端子

録画機器からの再生映像を入力するときに使います。

④録画出力端子

タイムラプスVTRやハードディスクレコーダーなどの監視用録画機器を接続するときに使います。

自動的にカメラの映像を切り換えて、録画機器に出力します（出力する映像は、セットアップメニューの設定内容によって異なります）。

⑤多画面出力端子

多画面映像を表示するためのモニターを接続するときに使います。多画面／1画面／VTR再生映像／アラーム映像が出力されます。

⑥スポット出力端子

主にスポット用のモニターを接続するときに使います。1画面の映像または1画面シーケンスによる映像が出力されます。

⑦電源コード

電源プラグはAC100 V（50 Hz／60 Hz）に接続してください。

⑧アラーム／リモート端子

アラーム信号（センサー信号含む）の入力、または本機を外部機器から制御するときに使います。

⑨DATAポート

PS・Dataモード対応機器を接続するときに使用します。

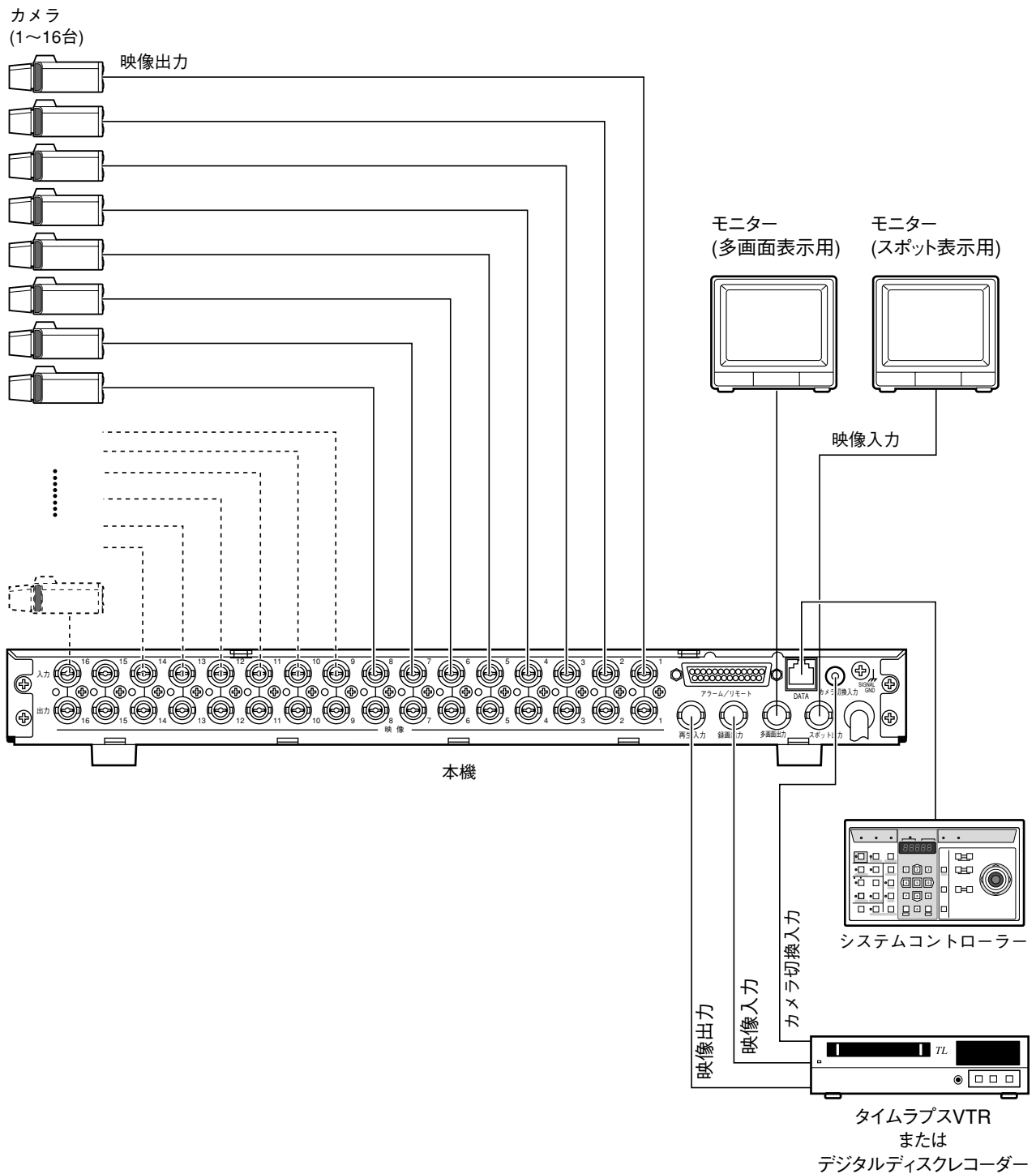
⑩カメラ切換入力端子

録画機器などからのカメラ切換信号を入力するときに使います。

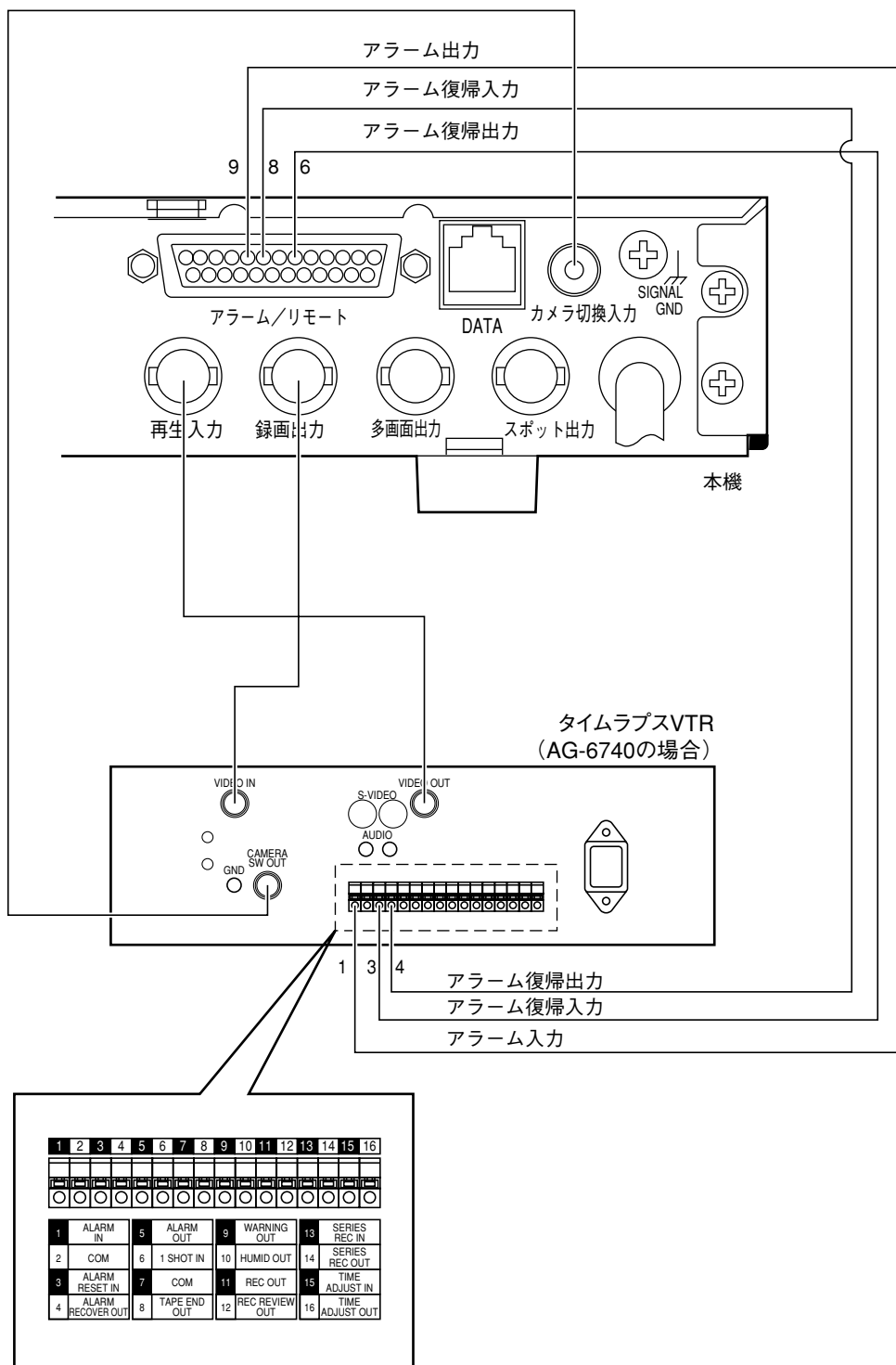
⑪SIGNAL GND端子

接続のしかた

接続例（基本）



タイムラプスVTRの接続



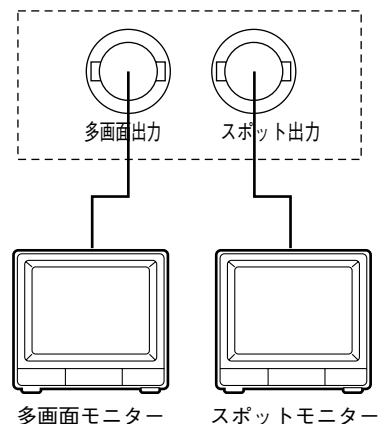
モニターの接続

本機は用途別に2台（スポット専用と多画面表示用）のモニターを接続することができます。

スポットモニターと多画面モニターを接続できます。

スポットモニター：スポット出力端子に接続

多画面モニター：多画面出力端子に接続



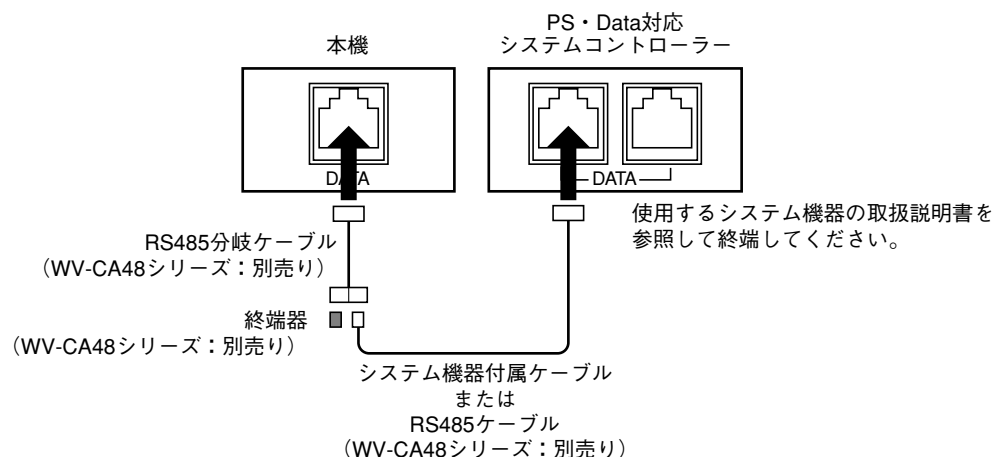
PS・Dataモード対応機器の接続

本機のDATAポートはPS・Dataプロトコルに対応しています。このポートを使って機器を接続するときは、別売りのWV-CA48シリーズのケーブルまたはPS・Dataモード対応機器に付属されているケーブルなどが必要です。

このポートにシステムコントローラー（PS・Dataモード対応）を接続すると、コントローラーで本機を操作することができます。

基本接続

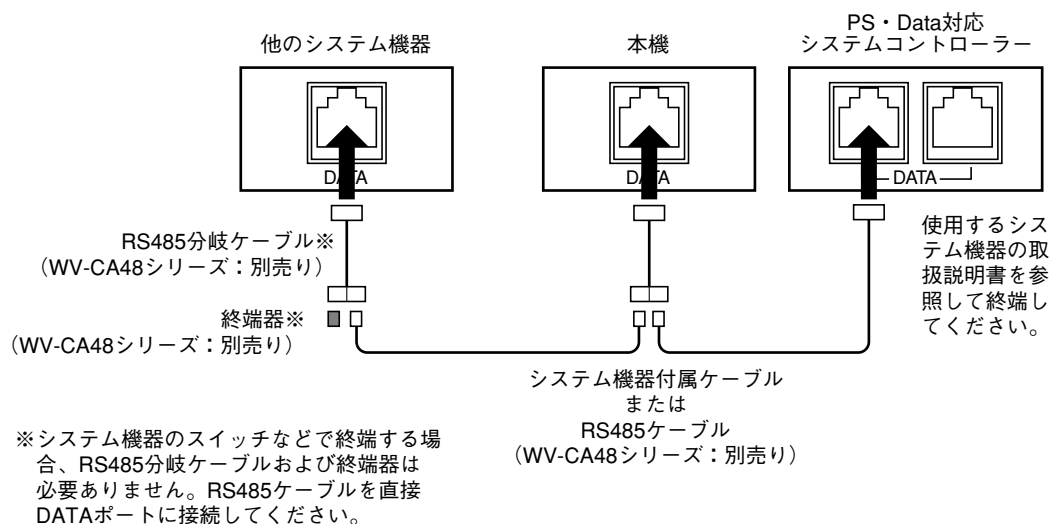
接続する機器のDATAポート間を別売りのWV-CA48シリーズのケーブルなどで接続してください。PS・Data対応機器に付属されているモジュラーケーブルを使用することもできます。



複数台接続する場合

接続する機器のDATAポート間を別売りのWV-CA48シリーズのケーブルで接続してください。PS・Data対応機器に付属されているモジュラーケーブルを使用することもできます。

注意！ 接続台数は1システムに対して16台までです。また、総ケーブル長は500 m以下になるようにしてください。



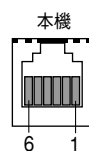
PS・Dataモード対応機器を複数台使用する場合の接続例

終端について PS・Dataモードで使用する場合、システム機器との通信はRS485インターフェースで行われています。RS485インターフェースで接続されている機器の両端は終端抵抗で終端する必要があります。終端しないと、データ通信が不安定になり、誤動作することがあります。

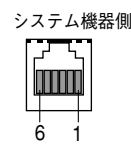
本機を終端する場合は、WV-CA48シリーズの分岐ケーブル（WV-CA48/10K）および終端器（WV-CA48/TN）が必要です。

DATAポートの仕様 本機のDATAポートのピン配置は右表のとおりです。現地でRS485ケーブルを作成する場合は、右表のピン配置を基に作成してください。

推奨ケーブル：ツイストペア・シールド線



No.	Name	Data Flow	No.
1	GND	-	1
2	RX(B)	本機 ← システム機器	2
3	RX(A)	本機 ← システム機器	3
4	TX(B)	本機 → システム機器	4
5	TX(A)	本機 → システム機器	5
6	GND	-	6



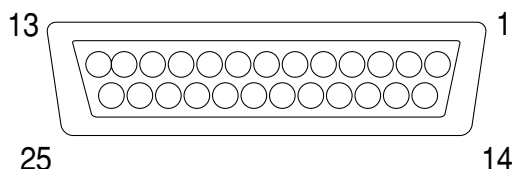
アラーム／リモート端子の使いかた

ピン配置

アラーム／リモート端子は外部からアラーム信号を入力する、または外部機器から本機を制御するときに使います。

5番ピンと22番ピンの状態によって、各ピンの機能を使い分けることができます。

ピン配置と各ピンの役割は下表のとおりです。



Pin #	ピンの名前	アラーム入力として使用	リモート端子として使用	
			リモート (機能1)	リモート (機能2)
5	切換 1	Open or +5 V	GNDに短絡	GNDに短絡
22	切換 2	Open, +5 V or 0 V	Open または +5 V	GNDに短絡
1	アラーム／リモート 1	アラーム入力 1	カメラ選択 1	多画面
2	アラーム／リモート 2	アラーム入力 2	カメラ選択 2	静止画
3	アラーム／リモート 3	アラーム入力 3	カメラ選択 3	ズーム
4	アラーム／リモート 4	アラーム入力 4	カメラ選択 4	ビデオ／カメラ切換
15	アラーム／リモート 5	アラーム入力 5	カメラ選択 5	メニュー
16	アラーム／リモート 6	アラーム入力 6	カメラ選択 6	スポット
17	アラーム／リモート 7	アラーム入力 7	カメラ選択 7	-
18	アラーム／リモート 8	アラーム入力 8	カメラ選択 8	-
19	アラーム／リモート 9	アラーム入力 9	カメラ選択 9/Down	-
10	アラーム／リモート 10	アラーム入力 10	カメラ選択 10/Up	-
11	アラーム／リモート 11	アラーム入力 11	カメラ選択 11/Left	-
12	アラーム／リモート 12	アラーム入力 12	カメラ選択 12/Right	-
13	アラーム／リモート 13	アラーム入力 13	カメラ選択 13/-	-
23	アラーム／リモート 14	アラーム入力 14	カメラ選択 14/+	-
24	アラーム／リモート 15	アラーム入力 15	カメラ選択 15/SET	-
25	アラーム／リモート 16	アラーム入力 16	カメラ選択 16/ESC	-
9	アラーム出力	アラーム出力	アラーム出力	アラーム出力
8	アラーム復帰入力	アラーム復帰入力	アラーム復帰入力	アラーム復帰入力
6	アラーム復帰出力	アラーム復帰出力	アラーム復帰出力	アラーム復帰出力
21	シーケンス	-	シーケンス	シーケンス
7	GND	GND	GND	GND
14	GND	GND	GND	GND
20	GND	GND	GND	GND

-:割り当て機能無し

アラームセンサーおよびリモートスイッチの条件

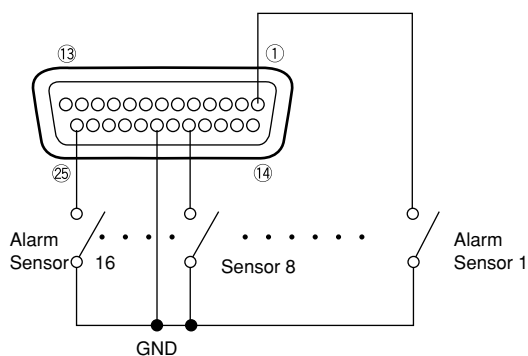
アラーム／リモート端子に接続できるアラームセンサーおよびリモートスイッチの条件は次のとおりです。

- 動作電圧がDC5 V以下であること (オープンコレクタ出力または無電圧メイク接点)
- メイク接点動作時のアラーム端子とアース端子間の電圧が0 V~0.8 Vになること。
- メイク接点する時間は250 ms以上であること。

アラーム入力端子として使用する場合

アラーム/リモート端子をアラーム入力端子として使用する場合、5番ピンを解放するか、または5番ピンにDC 5Vの信号を入力してください。

下図は、アラーム入力がN.O.の場合の接続例です。

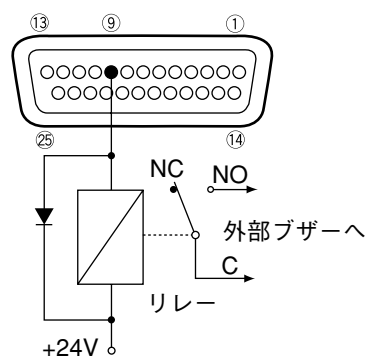
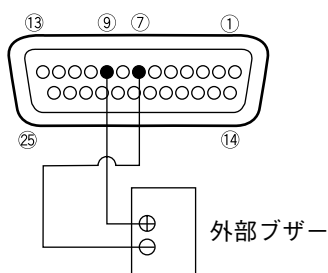


- 注意！**
- アラーム（センサー）を接続できるピン番号は、62ページの表を参照してください。
 - 接続するアラーム（センサー）のシグナルタイプをセットアップメニュー（アラームセットアップのアラーム イン）に設定してください。

アラーム出力 アラーム入力1～16に、アラーム信号が入力されると9番ピンからアラーム信号が出力されます。他の機器にアラーム信号を送ったり、外部ブザーやランプを点灯させたりすることができます。

接点容量：DC 24 V 100 mA以下（オープンコレクタ）

接点容量を超える機器を接続する場合はリレーなどを使用して接続してください。



NC: Normally Closed（通常短絡）
NO: Normally Open（通常短絡）
C: コモン

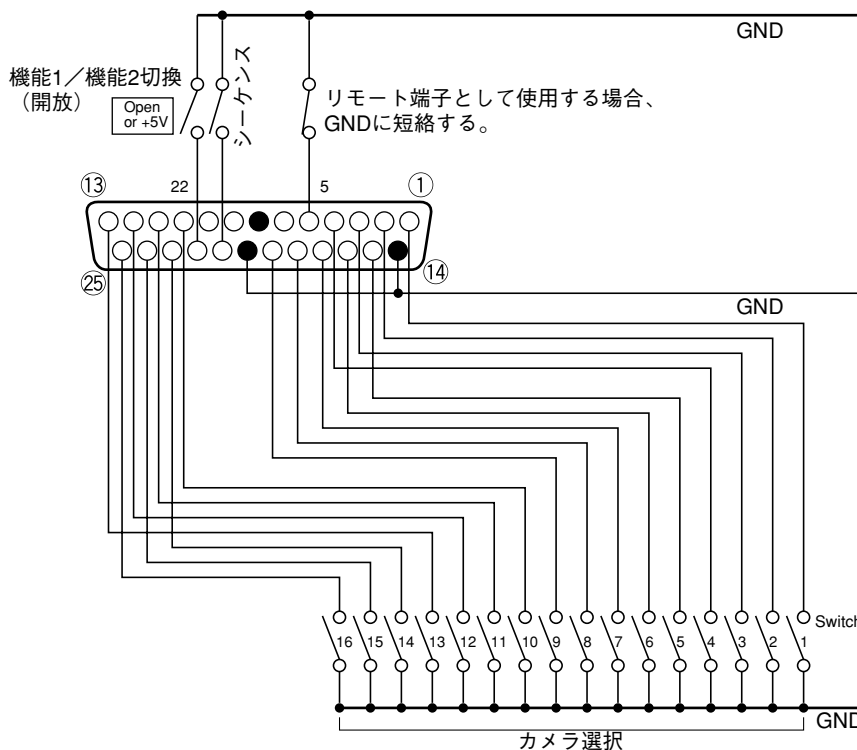
リモート端子として使用する場合

アラーム／リモート端子をリモート端子として使用する場合、5番ピンをGNDに短絡してください。

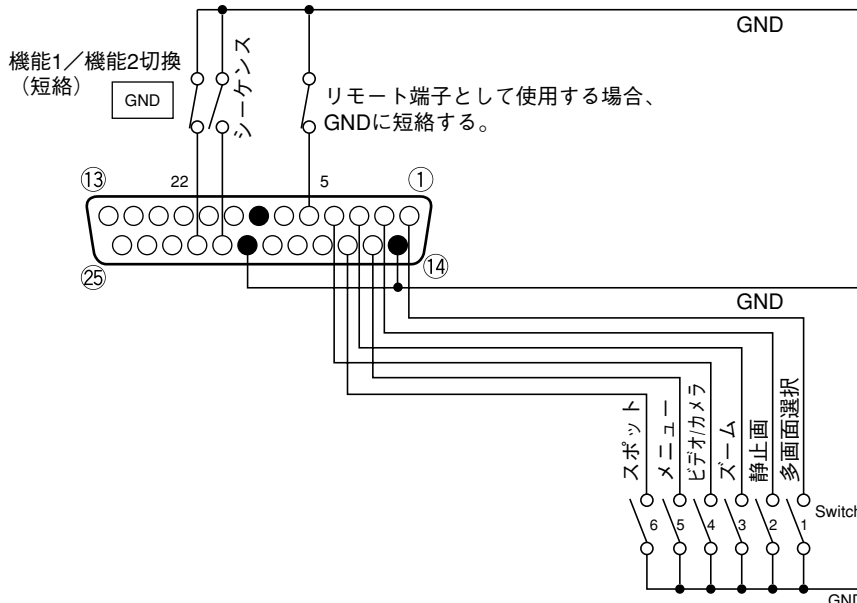
- リモート（機能1）として使用するときは、22番ピンのスイッチを開放するか、またはDC+5Vの信号を入力してください。
- リモート（機能2）として使用するときは、22番ピンのスイッチを閉じて、GNDに短絡してください。
- 各端子の機能は、GNDとのメイク接点によって動作します。

注意！ 2つ以上のスイッチが同時にメイクされると正しく動作しません。未使用時は、開放になるようにしてください（5番ピン、22番ピンは除く）。

接続例1：
リモート（機能1）を
リモートコントロール
する場合



接続例2：
リモート（機能2）を
リモートコントロール
する場合



ラックへの取り付けかた

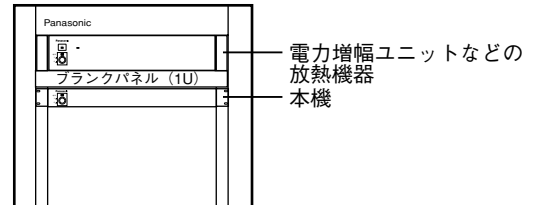
ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)
- ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)
- EIA規格相当品 : EIA19型 奥行き450 mm以上

注意！ 本機の取り付け場所について

- 本機はできるだけ電力増幅ユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、本機1台分以上の間隔を空けてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所には設置しないでください。
- 付属のタッピングねじ（呼び径5）は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。

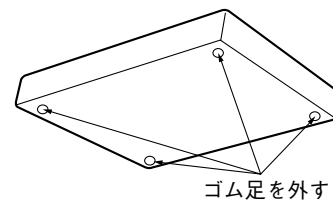


取り付けかた

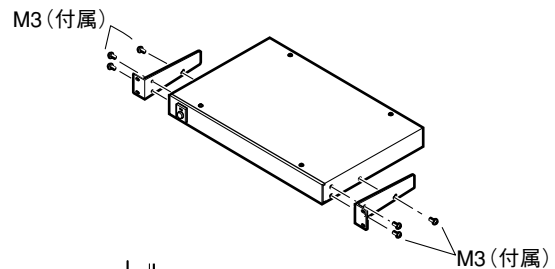
- 当社製品のラックをご使用になるときは本機付属のタッピング取付ねじを使います。
- 他社製品のラックをご使用の際は別売のラック取付ねじ（W2-MSS/5008またはM5×12）4本が別途必要です。

1 本機底面のゴム足4個を外す。

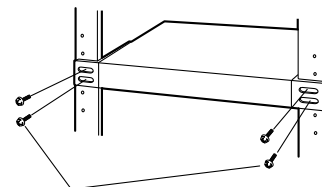
ゴム足は、固定しているねじをマイナスドライバーでゆるめると外れます。



2 本機にラックマウント金具（付属）をラックアングル取付ねじ（M3：付属）で取り付ける。



3 ラック取付ねじ（呼び径5タッピング：付属）でラックに取り付ける。



ラック取付ねじ
当社ラック使用時:タッピング呼び径5(付属品)
他社ラック使用時:W2-MSS/5008(別売品)またはM5×12

仕様

基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	約12 W
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C
寸法	幅 420 mm 高さ 44 mm 奥行き 350 mm (ゴム足、突起部除く)
質量	約4.0 kg

入出力仕様

映像入力	2:1インターレス VBS 1.0 V [p-p] /75 Ω×16 ループスルー付き 75 Ω自動終端 BNCコネクタ
スポット出力	1.0 V [p-p] /75 Ω (16入力) ×1 (1画面、1画面シーケンス) BNCコネクタ
多画面出力	VBS 1.0 V [p-p] /75 Ω (16入力) ×1 (1画面、多画面 (4/9/16) 1画面シーケンス、多画面シーケンス) BNCコネクタ
録画出力	VBS 1.0 V [p-p] /75 Ω (16入力) ×1 (カメラID多重出力) BNCコネクタ
再生入力	2:1インターレス VBS 1.0 V [p-p] /75 Ω×1 75 Ω自動終端 BNCコネクタ
カメラ切換入力	カメラ切換信号入力×1 ピンジャック
アラーム/リモート入力	16回路 (各映像入力に1回路、リモート入力と兼用) D-Sub25ピン
アラーム復帰入力	1回路 (DC 0 V~+5 V) D-Sub25ピン
アラーム復帰出力	1回路 (DC 0 V~+5 V) D-Sub25ピン
アラーム出力	無電圧メイクアップ オープンコレクタ出力 1回路 (DC 24 V 100 mA以下) D-Sub25ピン
DATA	RS485データ入出力×1 (PS・Dataプロトコル対応) 6極6芯モジュラージャック

仕上げ

パネル	AVアイボリー焼付塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
上カバー	AVアイボリーエリオ鋼板 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
後面カバー	処理鋼板

保証とアフターサービス よくお読みください

ご使用前に

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このフレームスイッチャーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	フレームスイッチャー
品番	WJ-FS416A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-FS416A
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045) 932-1231 (大代表)